

工学部・工学研究科資料集

2024.11 Vol.16

福岡大学

工学部・工学研究科資料集

福 岡 大 学

工 学 部

工 学 研 究 科

1	工学部の教育活動・教育改善活動	
1.1	工学部全体の教育改善活動	2
1.2	各学科の教育活動および教育改善活動	2
2	大学院工学研究科の教育活動	
2.1	入試状況	15
2.2	学生在籍状況	16
2.3	学年暦	17
2.4	専門科目一覧	18
2.5	修士論文と博士論文、学生が受賞した学術賞	27
3	研究活動	
3.1	学術論文と学会発表、学術賞	34
3.2	科学研究費採択課題一覧	35
3.3	産学連携活動の外部資金(受託研究・研究助成・共同研究)	37
4	入学・広報活動	
4.1	入試制度	38
4.2	入試状況	39
4.3	模擬講義	40
5	教務・図書・学生支援	
5.1	学生在籍状況	41
5.2	学年暦	42
5.3	専門科目一覧	43
5.4	図書工学部分室書籍貸出数	49
5.5	学生が取得した資格	50
5.6	「学習意欲向上と工学基礎教育の充実」プロジェクト	51
6	国際交流	
6.1	学生の留学状況	53
6.2	大学間協定・部門間協定	53
7	就職・進路状況	
7.1	就職状況	55
7.2	大学院進学	57
8	地域貢献	
8.1	社会へのサービス活動	60
8.2	社会へのボランティア活動	61
8.3	学外組織との連携協力による教育研究の推進	66
9	工学部・工学研究科の組織体制	67

はじめに

工学部長 辰巳 浩
工学研究科長 佐藤 寿倫

本資料集は、工学部および工学研究科の活動状況を記録に残し学内外に公開するために、第1号の工学部・工学研究科報を2005年11月に発行して以来、今回で16回目の発行となります。

令和5年度における工学部および工学研究科の様々な活動や取り組みの状況をまとめています。教育・教育改善活動については、工学部全体および各学科・研究科の各専攻の活動を記載し、研究活動、入学・広報活動、教務・図書・学生支援、国際交流、就職・進路状況については、現状と改善点などを記載しています。また、社会へのサービス活動やボランティア活動、学外組織との連携協力による教育研究の推進といった地域貢献については新たな取り組みの内容を記載しています。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症の混乱も収まり、工学部・工学研究科の各専攻においては、大学の基本方針に従い教育・研究を進めてきました。

教育活動については対面授業となり、教育・研究においてはキャンパス内の学生同様、活気を取り戻しております。また、ものづくりセンターにおいては、令和5年度は7つの学生プロジェクト活動を企画し、いくつかのプロジェクトではコンテストで入賞するなどの功績もあげております。

1962年に機械工学科・電気工学科で創立された工学部は、今後もより一層の教育の質向上に取り組み、環境の充実を図っていききたいと思います。また、学部・学科の垣根を越えた新しい教育やプロジェクトを進めていきたいと考えています。

第1章 工学部の教育・教育改善活動（令和5年度）

1.1 工学部全体の教育改善活動

1.1.1 教育改善活動

(1) 共通教育センター・工学部懇談会

例年通り3月半ばに開催を予定していたが、年度末の日程調整が困難であったため、昨年度同様メールでの意見交換を実施した。共通教育センターより内容資料の提供を受け、工学部内各学科からの意見聴取を行って懇談会の代替とした。来年度はより踏み込んだ意見交換が可能となるよう対面による実施を行う旨、意見が出された。

(2) 理学部・工学部懇談会

令和6年3月27日に理学部・工学部懇談会を開催し、主に工学共通科目に関する意見交換を行った。理学部からは、線形代数I/IIについての報告が行われた。その際、高校の数学における指導要綱が変更されたことを踏まえて、今後、授業内容を関係教員間で検討する機会を設けることが合意された。また力学や電磁気に関する教科書を変更する件についても理学部から報告があり、教科書の確認のため工学部教員にも回覧する旨、提案がなされた。その他、授業の進捗状況、学生ごとの習熟度の違い、物理学実験の実施方法について報告があった。一方、工学部からは、一部学科における工学共通科目の成績状況について報告があり、単位取得率に関する議論がなされた。当該科目においては担当教員および使用教科書の変更等もあり従来よりも難易度が上がっている可能性が示唆された。その他、一部学科で例年実施している数学到達度調査の今後の実施方法について、また配慮が必要な学生の情報についての議題が挙げられた。

1.1.2 活動全般の成果および点検・評価

(1) 共通教育センターおよび理学部との懇談会

共通教育センターとの対面での懇談会は開催できなかったが、例年同様の情報共有およびメールでの意見交換を実施した。理学部・工学部懇談会では、理学部から工学共通科目の状況に関する状況の説明がなされ、情報が共有された。

1.2 工学部各学科の教育活動および教育改善活動

1.2.1 機械工学科

1.2.1.1 教育活動

通常の教育活動に加えて、教育効果の向上、キャリア教育の充実を目的として以下の活動を実施した。

(1) 履修登録ガイダンス（令和5年4月2日）・学科指導懇談会（令和5年4月6日）

新入生対象。履修登録ガイダンスでは、福大 ID を利用したサービスに接続するための研修、履修登録に関する説明が行われた。学科指導懇談会では、学科主任からの学科の概要説明、各教員からの挨拶などが行われた。

(2) 新入生スタートアップセミナー（令和 5 年 4 月 10 日）

新入生対象。外部講師を招いてチームビルディングの手法を用いた活動を実施。新入生間の交流機会を設けた。

(3) キャリア教育（就職説明会）（令和 5 年 11 月 30 日）

3 年生対象。就職活動への取組方の説明や先輩の事例の紹介などが行われた。また進学に関する説明も行われた。このほか、通年でキャリア教育（進路相談、進路情報提供、面接対策、OB による学科・研究室訪問）を行っている。

(4) 研究室説明会（令和 5 年 12 月 8 日）

3 年生対象。各研究室の担当者から、研究室の概要説明、研究テーマ紹介、卒論活動紹介、大学院での活動紹介などが行われた。卒論の配属希望調査や進路設計に役立てられる。

1.2.1.2 教育改善活動

令和 5 年度の学科会議において、教育改善に関する以下の項目について検討を行った。

(1) 副担任制の運用方法、面談の実施や面談記録の共有方法に関する検討

（令和 5 年 4 月 12 日、4 月 26 日、5 月 10 日、9 月 20 日、10 月 25 日、令和 6 年 3 月 6 日）

(2) 薬物乱用防止啓発活動について

（令和 5 年 4 月 12 日）

(3) 工学部教育に関する会議の報告

（令和 5 年 4 月 26 日、5 月 31 日、6 月 21 日、8 月 2 日、12 月 20 日）

(4) 開講科目・カリキュラム改正についての検討

（令和 5 年 7 月 12 日、10 月 25 日）

(5) 卒論・設計演習など研究室間で連携する科目の運用についての検討

（令和 5 年 11 月 22 日、令和 6 年 1 月 10 日、2 月 7 日）

(6) 次年度の新入生対応の改善に関する検討

（令和 5 年 12 月 20 日、令和 6 年 1 月 10 日、2 月 7 日）

1.2.1.3 学外研修等への参加状況報告

(1) ものづくり・創造性教育に関するシンポジウム

主 催：ものづくり・創造性教育施設ネットワーク

開催日：令和 5 年 12 月 9-10 日

場 所：福岡大学 中央図書館 1 階多目的ホール

参加者：遠藤正浩

1.2.1.4 活動全般の成果および点検・評価

- (1) 令和5年度の入学生から卒業論文が必修化された。選択科目であったころから履修者は多かったが、必修科目となることで全学生が卒業研究を通して問題解決能力を養う機会を得ることは意義が大きい。（科目としての）卒業論文の運用方法は継続的に改善していくことが求められる。
- (2) 新入生を対象としたスタートアップセミナーが対面で実施された。コロナ禍のオンライン中心の活動により、学生間の交流機会減少による弊害が顕在化する面もある中、対面による交流機会の重要性が再確認された。
- (3) 副担任による面談の対象者を広げ、留年や卒業延期の芽を摘むよう対策を行った。面談により、その後の成績が改善される成果も見られる。一方で、面談記録の作成・共有などの作業面で、負担軽減のための工夫が必要である。

1.2.2 電気工学科

1.2.2.1 教育活動

- (1) 新入生スタートアップセミナーの実施

開催日：令和5年4月10日（月）

参加者：新1年生

内容：記者会見（自己紹介）と相互インタビュー

- (2) 新入生学科懇談会の実施

開催日：令和5年4月6日（木）

参加者：新1年生 および 全教員

内容：教授・准教授・助教 各担当科目および研究紹介

資格資料の配布・説明

学生生活上の注意

1.2.2.2 教育改善活動

令和5年度は学科会議（対面、メール審議）において、以下のような項目について討論・改善を行った。

- (1) 副指導の指導内容の検討（令和5年4月18日）

新入生から4年生まで全学生に副担任の割り当てを行い、指導として学習面、就職活動面での面談を行うこととなり、学生への周知も行った。特に成績が低下している学生については数度にわたって呼び出しをかけ、手厚いサポートを実施することとした。

- (2) 教育の質に係わる指標についての検討（令和5年7月27日）

先年より教育の質に関する指標の検討を行っている。それに基づいて、本年に評価の実

施と分析を行い、指標としては概ね有効に機能し、改善が進んでいることがわかった。

(3) 少人数教育科目「基礎電気工学」の実施方法改善（令和5年9月2日）

従来、初年次教育として「基礎電気工学」を実施しているが、副担任制と連携した実施方法としてより充実した指導を図った。また、成績算出のための評価方法の改善、e-learningの活用方法のについての議論、さらに、最終試験、講義資料の確認を行った。

(4) 4年生実験科目「電気工学実験Ⅲ」の実施方法の改善(令和5年11月28日)

「電気工学実験Ⅲ」は4年生科目で就職活動との重複があり、欠席など効率的な運営が難しい状況であった。授業スケジュールの変更を行って、実験時の協同作業の促進、充実した指導を図ることとした。

1.2.2.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項無し。

1.2.2.4 活動全般の成果および点検・評価

- (1) 「電気工学実験Ⅲ」で使用している高電圧装置において、変圧器、コンデンサなど微量PCB混入の絶縁油を使用している可能性があり、調査を進めてきた。対象となる変圧器が見つかったため、納品、検収を済ませ、学生の教育環境の向上が進んだ。
- (2) 資格認定科目「電気法規及び施設管理」は本学科の修了で得られる資格認定に必要な科目であるが、極めて実務的な内容であるため、専門家の非常勤講師による授業が行われている。講師が定年を迎えるため、学科にて後任の採用を進めた。高度な知識を有する専門家の後任を採用することができ、継続的な教育の実施が確保できた。

1.2.3 電子情報工学科

1.2.3.1 教育活動

例年通り、通常の教育活動に加えてキャリア教育を充実するために以下の活動を行った。

(1) 新入生スタートアップセミナーの実施

開催日：4月10日

場 所：1012、1013、1014 教室

内 容：新入生間のネットワーク構築を支援すべく、スタートアップセミナーを実施した。また、教員を交えたセッション「総当たりインタビュー」も実施した。

(2) 「先輩と語る」の実施

開催日：5月19日

場 所：1121 教室

内 容：1年生科目「電子情報工学特論」の1コマを使って「先輩と語る」を実施した。

講 師：森 淳（株式会社ハコブネ 代表取締役／1999年 TL 卒）

演 題：人生に無駄なし

(3) SPI の模擬テストの実施

開催日：5 月 12 日

場 所：1121 教室

内 容：1 年生に対して SPI の模擬テストを実施した。

開催日：11 月 15 日

場 所：1121 教室

内 容：3 年生に対して SPI の模擬テストを実施した。

(4) 電子情報産業論の実施

開催日：6 月 16 日，6 月 23 日，7 月 14 日，7 月 12 日

場 所：1111 教室

内 容：2 年生科目「電子情報基礎演習」の 4 コマを使って「電子情報産業論」として、企業から招いた講師による電子通信産業・情報産業における最新の技術・トレンド・技術者としての仕事に関する講演を実施した。

講 師：阿部憲一、近藤亮、久基史（NEC 通信システム）

演 題：モビリティ業界に変革をもたらす CASE について

演 題：位置情報検出技術と技術の適用

講 師：小西聡（株式会社 KDDI 総合研究所 先端技術研究所長）

演 題：5G の発展と Beyond 5G/6G に向けて

講 師：河野裕司（福岡県情報サービス産業協会 産学連携チーム）

演 題：IT 業界の仕事は多種多様で日々進化！～ ユーザ世代のみなさんが作る未来

講 師：竹田彰彦（株式会社 CIC 顧問）

演 題：IoT×AI DX 時代への備え！～ DX 時代に必要なテクノロジーとは ～ メタバース、デジタルツインそしてコモングラウンド

講 師：坂口俊文（アイシン・ソフトウェア）

演 題：車載ソフトウェア開発の紹介および自動車業界の動向について

1.2.3.2 教育改善活動

令和 5 年度は授業改善検討会議（学科会議）において、以下のような項目について検討・改善を行った。

(1) 副担任（4 月 5 日、12 日、19 日、5 月 17 日、31 日、9 月 6 日、20 日、12 月 6 日）

新入生面談、定期個人面談、修学指導、副担任配属方法、父母懇談会などについて議論された。

(2) ピアサポート（7 月 12 日、8 月 30 日、9 月 6 日、20 日、3 月 27 日）

上回生が下級生をサポートする仕組みを 5 年度から立ち上げることとなり、その内容などについて議論された。

(3) カリキュラム改正（4 月 12 日、6 月 21 日、28 日、7 月 19 日、8 月 30 日、10 月 11

日、18日、11月8日、22日、29日、12月13日、20日、1月17日、

半導体教育プログラムの立ち上げなどについて議論された。

(4) スタートセミナー（4月19日、5月10日、24日、6月28日、7月12日、10月18日、25日、11月22日、2月28日、3月6日）

5年度から新たに実施する1・2年次生合同の振り返りグループワークや来年度の実施内容などについて議論された。グループワークは7月7日に実施された。

(5) 電子情報基礎演習（4月26日、5月31日、6月21日、28日、9月6日、10月11日、11月29日、2月21日）

5年度から新たに実施するカーボンニュートラルに関するグループワークや、来年度以降の内容見直しなどについて議論された。

(6) 3つのポリシー、アセスメントプラン（4月19日、8月30日）

見直しの必要性などが議論された。

(7) 拡大会議（4月5日、9月6日）

実験等に携わる助教の意見を学科の施策に反映できるよう、助教も参加する拡大会議を実施した。

(8) プレ卒配属（6月7日、28日、9月2日、6日、13日）

配属方法の見直しなどが議論された。説明会は8月2日に開催された。

(9) コース分け・転コース説明会（12月6日、2月7日、21日）

説明会は1月26日に実施された。

1.2.3.3 学外研修等への参加状況報告

(1) 令和5年度大学電気系教員協議会総会・教育研究集会

主 催：大学電気系教員協議会

開催日：令和5年9月25日

場 所：オンライン

参加者：中西恒夫

(2) 令和5年度理工系情報学科・専攻協議会 総会・研究会

主 催：理工系情報学科・専攻協議会

開催日：令和5年7月15日

場 所：オンライン

参加者：吉村賢治

1.2.3.4 活動全般の成果および点検・評価

令和5年度の大きな変化は、副担任制度の開始、ピアサポート制度の立ち上げ、半導体教育プログラムの構想の3つである。

副担任制度では、新入生との早期面談、研究室配属されている4年次生を除いた全学生と

の定期面談、成績や出席に課題のある学生の指導など、以前と比べて木目細かな指導が可能になった。学力以外に課題を抱えている学生を発見できるようになった効果も大きい。一方で教員の負担が非常に大きく、何らかのサポートが望まれる。

ピアサポート制度は学生間の縦の繋がりを強化する取り組みである。例えば苦手科目対策など、上級生に下級生のサポートを任せる仕組みである。そのための研修も計画している。5年度はその準備期間で、6年度からの実施が期待される。

半導体教育プログラムは、半導体に関連する特定の科目群の単位を取得した卒業生を半導体人材として学科で認定する取り組みである。インターンシップ科目の新設、他学部や他大学との協力、九州大学を通じて実施される企業技術者による講義などが特徴である。5年度はその準備期間で、6年度から徐々に実施される。

1.2.4 化学システム工学科

1.2.4.1 教育活動

令和5年度は、通常のエデュケーショナル・アクティビティに加えて、専門科目履修に向けた新入生の基礎学力確保、キャリア教育の充実などを目的として、以下に示す活動を実施した。

(1) リメディアル数学、数学演習クラス（1年生対象）

令和5年4月19日～7月12日 毎週水曜5限： 4月13日5限に「高校数学の学力到達度調査」を実施し、学力別に3クラスに分けた。第1～11回には授業を、第12回には期末試験を実施した。

(2) リメディアル物理（1年生対象）

令和5年4月12日～7月19日 毎週水曜2限： 第1回に「高校物理の学力到達度調査」を実施し、受講対象者を選抜した。第2～14回では授業を実施した。

令和5年7月7日 1限：1年生全員を対象として、到達度確認試験を実施した。

(3) 新入生スタートアップセミナー（1年生対象）

日時：令和5年4月10日

場所：A609 教室および A610 教室

内容：新入生の不安軽減およびチームビルディングに関するセミナーを開催

(4) 化学工場見学（3年生希望者対象）

日時：令和5年11月6日

場所：UBE 株式会社 宇部工場地区

内容：UBE 株式会社の展示コーナーおよび宇部ケミカル工場等の見学

(5) 進路説明会（3年生対象）

日時：令和5年10月13日（「化学工学実験Ⅱ」において実施）

場所：644 教室

内容：就職活動に対する心構え、大学院進学の説明、研究室仮配属の説明、質疑応答

(6) 先輩と語る（3年生対象）

日時：令和 5 年 11 月 17 日（「化学工学実験Ⅱ」において実施）

場所：644 教室

内容：（第一部）大学院生と化学システム工学科 OB の講演

講演 1：ニデック株式会社 麻生 早紀 氏（2017 年度博士前期課程修了）

講演 2：化学システム工学科博士前期課程 2 年 浦 琢真 氏

学科就職担当者からの連絡

（第二部）各研究室の 4 年生・大学院生との懇談会

1.2.4.2 教育改善活動

令和 5 年度は、教育改善活動として、以下に示す活動を実施した。

（1）教育改善会議

日時：令和 5 年 6 月 21 日

場所：TK 会議室

内容：令和 4 年度授業評価アンケートの集計結果を基に作成された授業改善シートに基づく講義概況の報告（各科目担当の先生方）、および科目毎に問題点の抽出、来年度以降の授業改善方法に関する意見交換

（2）JABEE プログラム外部評価会議および JABEE プログラム勉強会（学科教職員対象）

日時：令和 6 年 3 月 14 日

場所：644 教室

内容：本学科 JABEE プログラムおよびカリキュラムの説明

外部講師による講演

外部講師 山田 佳之 氏（笛田・山田技術士事務所）による講演

質疑応答

1.2.4.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.4.4 活動全般の成果および点検・評価

リメディアル科目は、専門科目履修に向けた新入生の基礎学力確保を目的として、例年実施している。令和 5 年度も原則前年度と同様の内容にて実施した。従来行われていた新入生合宿研修会は中止し、その代わりに新入生スタートアップセミナーを実施し、学生同士の交流の場を提供した。

キャリア教育の充実を図るための 3 年生対象の説明会および教職員を対象とした教育改善活動の多くは、基本的にはコロナ禍前の形式に戻し、対面で 1 つの教室にて実施することができた。3 年生対象の説明会では、OB や大学院生の就職活動に係る体験談を聴講し、学生はキャリアデザインの重要性を深く認識したようである。また、教職員は、JABEE プログラ

ム勉強会における講演とその後のディスカッションを通じて、将来の教育方法やPDCAを「持続的・継続的」に回すことの重要性に関して再認識した。

1.2.5 社会デザイン工学科

1.2.5.1 教育活動

(1) 「社会デザイン工学科チーム力養成ゼミ」の実施（4年生対象）

チームワーク力の育成のために4年生全員を対象としてチーム力養成講座を実施した。学部講義で得た知識、技術、技能や所属研究室の学術分野の知識を融合し、社会デザイン工学的解決策をチームで導き出す。そのために必要なコミュニケーション研修を目的とし、1) コミュニケーションが必要な時代背景を知る、2) チームとチームワークの考え方を知る、3) 相手を認めることを学ぶ、4) 表現のコツを知るといった講義内容を踏まえ、演習を含めた実践的講義を実施した。またフォローアップとして令和5年5月27日（月）の学科会議にて、本講座の振り返りを行い情報の全体共有を図った。

・実施スケジュール

令和5年4月8日 第1回目 概要説明、講義 @521 教室

令和5年4月26日 第2回目 演習を含めた実践的講義 @中央図書館多目的ホール

(2) インターンシップの実施（3年生対象）

3年次開講科目「キャリアデザイン」（必修科目）の一環として、インターンシップの参加を単位取得の必須条件としていたが、2021年度からは参加推奨に切り替えた。大半の学生は10日間以上のインターンシップに参加し、その後インターンシップ報告会を実施した。

・インターンシップ報告会

日 時：令和5年9月11日（月）13：00～

場 所：521 教室

内 容：インターンシップでの体験や実施内容に関する資料を作成し、教員や他の学生に説明を行う報告会を実施。

(3) 現場見学会（1年生対象）

日 時：令和6年2月9日

場 所：福岡空港、博多港

内 容：増設滑走路の見学、博多港の見学

(4) TC 学習サポートデスク

日 時：第2, 4火曜日 12：20～12：50（学期中）

場 所：511 教室

内 容：授業がわからない、困っている学生を対象に教員、大学院、学部生サポーターによる学習サポートを実施。

1.2.5.2 教育改善活動

(1) シラバス読み合わせの実施（令和 5 年 1 月 19～22 日）

令和 6 年度のシラバスについて、到達目標、授業計画のチェックを目的とした学科教員全員による読み合わせが実施された。FU_box に各科目のシラバスを保存し、確認担当者を決めて期限(1 月 22 日)までにチェックシートに記載する形で実施した。

(2) JABEE 外部評価委員会

日 時：令和 5 年 7 月 24 18：00～19：00

場 所：オンライン

参加者：外部評価委員 6 名、学科教員

内 容：指摘事項及び継続的改善について
教育改善の取り組みについて
卒業生アンケートの結果

1.2.5.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.5.4 活動全般の成果および点検・評価

教育活動として「チーム力ゼミ」「現場見学会」「インターシップ」を継続して実施している。これらの関連活動は、学科会議で振り返りや改善点について話し合いながら、継続的に点検・評価を行っている。令和 5 年度からは講義が難しいと感じている学生の自主参加による「TC 学習サポートデスク」を新たに設けており、20 名程度の学生が参加している。今後は学生の成績や学習状況を振り返りながら成果について点検・評価を行っていく。

教育改善活動では、専門科目のシラバスを最低 3 名の担当外教員が相互にチェックを行いながら、継続的に改善を行っている。また、JABEE 外部評価委員会では、学科の活動全般に対する外部からの指摘や評価を通じて、学科の JABEE 会議にて改善について議論している。

1.2.6 建築学科

1.2.6.1 教育活動

(1) 新入生履修ガイダンス、新入生指導懇談会および新入生研修旅行

令和 5 年 4 月 2 日（日）に新入生履修ガイダンスを、4 月 6 日（木）に新入生指導懇談会を行った。また、新入生間の親睦・教員との交流と、身近な建築物の見学を通して、建築への興味を深め、建築を観る目を養うことを目的に、新入生フィールド研修を 5 月 13 日（土）に行った。

(2) SPI 模擬テストおよびコンピテンシー診断テスト

1 年生を対象に、SPI の模擬試験（令和 5 年 7 月 14 日（金）実施）およびコンピテンシ

一診断テスト（令和5年4月16日（金）実施、5月14日（火）にフォローアップを実施）を行った。

(3) アドバイザー訪問

実施日：1年生：4月17日～21日、9月25日～10月6日、3月15日～3月29日

2・3・4年生：9月25日～10月6日、3月15日～3月29日

実施内容：アドバイザー担当教員（副担任）が個別面談を対面もしくはオンラインで実施した。

(4) 建築学科キャリアセミナーの実施

就職活動を始める3年生を対象に、令和5年9月27日（水）、10月4日（水）、11日（水）、18日（水）、25日（水）の5日間の期間でキャリアセミナーを実施した。キャリアセミナーに参加いただいた建築関係の各企業について、事前に企業説明の動画（5分）で学習した上で、各企業のブースを設けて個別相談や質疑応答を行った。

1.2.6.2 教育改善活動

(1) 修学指導

成績がふるわない学生（2～4年生）を対象に6月～7月の間で修学指導を行った。

(2) 推薦合格者の入学前教育の実施

入学前教育として推薦合格者に課題を課し、提出された課題内容を教員でチェックした。

(3) 福岡大学建築展

福岡大学建築展 2024（第17回）

開催日：令和6年2月16日（金）～2月18日（日）

会場：アクロス福岡1階アトリウム

内容：設計展示として、卒業計画の優秀作品（七隈建築賞・福岡県建築士会賞、榊揚会賞、優秀賞、佳作等）、3年生の設計課題を展示した。また、論文展示として、日本コンクリート工学会九州支部長賞、空気調和・衛生工学会振興賞学生賞、都市住宅学会九州支部優秀学生賞等受賞論文を含む、各研究室で選出された論文を展示した。

(4) 設計計画系ミーティングおよび講義研究会

開催日：令和5年8月29日（火）・10月18日（水）・12月23日（土）・令和6年2月13日（火）・3月14日（木）の計5回開催

(5) 構造系講義検討WGおよび構造系講義研究会

開催日：令和5年8月24日（木）、令和6年2月16日（金）～22日（木）（メール会議）、令和6年3月13日（水）の計3回開催

(6) 外部評価会議

1) 卒業計画優秀作品選考会の実施

日時：令和5年1月20日（土）13:00～17:50

場 所：5号館4階541教室

参加者：外部評価委員（8名）井出 健一郎（リズムデザイン 本学非常勤講師）、佐々木 翔（INTERMEDIA 本学非常勤講師）、佐藤 真紀（佐藤真紀&FUN 建築設計事務所 本学非常勤講師）、田中 俊彰（田中俊彰設計室 本学非常勤講師）、田中 康裕氏（キャディスと風建築工房 本学非常勤講師）、松山 将勝（松山建築設計室 本学非常勤講師）、佐藤 信（青木茂建築工房 福岡事務所）、佐藤 寛之（佐藤寛之設計/NKS2 architects）、教員（8名）池添 昌幸、太記 祐一、趙 翔、宮崎 慎也、四ヶ所 高志、野口 雄太、野田 りさ、松永 一郎、学部4年次生、大学院生

内 容：建築学科の開講科目「卒業計画」（4年生通年必修）の優秀作品選考会の審査員として、8名の外部評価委員を招聘した。「卒業計画」では、学生が研究室に所属して行った研究成果を論文か設計作品にまとめ発表し、その設計作品の中から学内の教員が高く評価した12作品について、学生のプレゼンテーション、図面、模型、などを、それぞれ検討・評価をして頂いた。そして学内の教員も交え、12作品全体について意見交換を行い、特に優秀な作品の選考を行った。一連の作業を通して、実際に建築設計の実務に携わっている現役の専門家から、様々な意見を聴取することができ、「卒業計画」の教育効果を検証する手がかりを得るとともに、学部における設計教育全体の方針を再検討するための重要な知見を得ることができた。

2) 設計教育に関する評価の実施

日 時：令和5年5月22日（月）13:00～17:50

場 所：5号館4階541教室

参加者：外部評価委員（1名）森田 俊一郎（ギャラリーモリタ）、教員（3名）宮崎 慎也、野口 雄太、野田 りさ、学部3年生82名

内 容：建築学科で開講している建築設計Ⅲ（3年生前期）の設計演習課題「アーティスト・イン・スクール」において、アートによる廃校活用や、アーティストインレジデンス、の活動に詳しい森田俊一郎氏に課題設定や授業運営などを中心に、建築学科の設計教育について評価を頂いた。また、アーティストの具体的な活動を学生・教員に紹介して頂き、今後の設計課題プログラム作成方針の参考となる知見を得ることができた。

1.2.6.3 学外研修等への参加状況報告

特記すべき事項なし。

1.2.6.4 活動全般の成果および点検・評価

令和5年度も、教室会議と学科内教務委員会において、講義・演習や卒業計画等の授業科

目、修学指導の関連行事について継続的に検討し、教育改善を継続的に実行している。

専門科目のシラバスは、分野の近い教員が分担して相互にチェックし、その後、学科主任が全体調整を行い、改善すべき点があれば指摘するなど、相互点検と改善を行っている。また、キャリアデザイン教育の充実を図るために 3 年次生を対象として「キャリアセミナー」を実施するなど、継続的に点検・評価を行っている。

上記の活動項目のほかにも、福岡工業高校等の高校教育への貢献、イヤーブック（建築学科の活動を記録した冊子）を用いた教育成果の情報発信などを実施し、教育改善の成果を上げている。

2.1 入試状況

推薦、秋季、春季入学試験の過去5年間における各専攻の受験者数と合格者数を示す。

課程・専攻		入学年度 (実施年度)	推薦		秋季		春季		合計	
			志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
博士課程前期	機械工学	2024 (R5)	7	7	7	7	3	2	17	16
		2023 (R4)	8	8	6	4	3	3	17	15
		2022 (R3)	7	7	5	5	0	－	12	12
		2021 (R2)	10	10	6	3	4	2	20	15
		2020 (R1)	5	5	2	2	1	1	8	8
	電気工学	2024 (R5)	6	6	1	0	0	0	7	6
		2023 (R4)	4	4	1	1	2	2	7	7
		2022 (R3)	10	10	3	2	2	1	15	13
		2021 (R2)	8	8	6	5	3	2	17	15
		2020 (R1)	4	3	5	1	4	3	13	7
	電子情報工学	2024 (R5)	4	4	8	7	4	3	16	14
		2022 (R4)	7	7	5	4	5	4	17	15
		2022 (R3)	4	4	11	10	2	1	17	15
		2021 (R2)	5	5	8	7	3	1	16	13
		2020 (R1)	1	1	6	6	2	1	9	8
	化学システム工学	2024 (R5)	21	21	17	14	2	2	40	37
		2023 (R4)	17	17	26	24	4	3	47	44
		2022 (R3)	12	12	2	2	0	－	14	14
		2021 (R2)	17	17	4	3	3	3	24	23
		2020 (R1)	13	12	8	7	7	7	28	26
	建設工学	2024 (R5)	7	7	22	19	2	2	31	28
		2023 (R4)	10	10	16	14	5	4	31	28
		2022 (R3)	3	3	9	8	4	3	16	14
		2021 (R2)	5	5	12	12	2	1	19	18
		2020 (R1)	3	3	7	5	6	4	16	12
修士課程	資源循環・環境工学	2024 (R5)	0	0	1	1	2	2	3	3
		2023 (R4)	0	－	0	－	2	2	2	2
		2022 (R3)	0	－	3	1	3	3	6	4
		2021 (R2)	1	1	1	1	3	2	5	4
		2020 (R1)	4	4	2	2	2	2	8	8
博士課程後期	エネルギー・環境システム工学	2024 (R5)			0	0	1	1	1	1
		2023 (R4)			3	3	3	3	6	6
		2022 (R3)			1	1	1	1	2	2
		2021 (R2)			1	1	2	2	3	3
		2020 (R1)			1	1	2	2	3	3
	情報・制御システム工学	2024 (R5)			0	0	0	0	0	0
		2023 (R4)			0	－	0	－	0	0
		2022 (R3)			1	1	1	1	2	2
		2021 (R2)			1	1	0	－	1	1
		2020 (R1)			1	1	0	－	1	1

2.2 学生在籍状況

令和5年度 工学研究科在籍者数一覧

(令和5年5月1日現在)

課程			博士課程前期（修士課程）			博士課程後期				合計
専攻	年次	学年 (入学年)	1年 (2023)	2年 (2022)	3年以上 (2021以前)	1年 (2023)	2年 (2022)	3年 (2021)	4年以上 (2020以前)	
機 械 工 学	女子 休学 在籍		(0) 15	(2) 12	(0) 0					(2) 0 27
電 気 工 学	女子 休学 在籍		(0) 7	(0) 12	(0) 0					(0) 0 19
電 子 情 報 工 学	女子 休学 在籍		(0) 15	(3) 13	(0) 0					(3) 0 28
化 学 シ ス テ ム 工 学	女子 休学 在籍		(6) 41	(2) 11	(0)					(8) 0 52
建 設 工 学	女子 休学 在籍		(5) 24	(3) 14	(1) 2					(9) 0 40
資 源 循 環 ・ 環 境 工 学	女子 休学 在籍		(0) 2	(1) 4	(0) 0					(1) 0 6
博士課程前期・修士課程 合 計	女子 休学 在籍		(11) 0 104	(11) 0 66	(1) 0 2					(23) 0 172
エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 シ ス テ ム 工 学	女子 休学 在籍					(1) 6	(0) 2	(1) 3	(0) 1	(2) 0 12
情 報 ・ 制 御 シ ス テ ム 工 学	女子 休学 在籍					(0) 0	(0) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0 3
博 士 課 程 後 期 合 計	女子 休学 在籍					(1) 0 6	(0) 0 4	(1) 0 4	(0) 0 1	(2) 0 15

令和5年度 工学研究科外国人留学生、社会人学生、研究生等在籍者数

(令和5年5月1日現在)

課程・専攻 分類		博士課程前期・修士課程					博士課程後期			工 学 研 究 科 合 計
		機 械 工 学	電 気 工 学	電 子 情 報 工 学	化 学 シ ス テ ム 工 学	建 設 工 学	環 境 資 源 循 環 工 学・	環 境 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学・	シ ン テ シ ス ・ 情 報 シ ス テ ム 制 御 工 学	
外国人留学生				1	1	1	2	1	1	7
外国人特別留学生										0
社会人学生						1	1	10	1	13
研究生										0
科目等履修生										0

2.3 学年暦

令和5年度 工学研究科学年暦・行事暦

年月日				事 項
5	4	1	土	入学式/学年開始・前期開始
				新入生ガイダンス・学習指導
				新入生履修登録開始 (～4日12:00迄)
		4	火	TA申込締切
		11	火	前期授業開始
	6	12	月	推薦入学願書受付開始 (～14日迄)
	7	1	土	推薦入学試験（工学研究科）
		10	月	個別の入学資格審査対象者・外国人（国内志願者）の入学願書 受付開始（～12日迄）
		18	火	推薦入学合格発表
		31	月	前期授業終了
	8	4	金	夏季休業開始
		7	月	秋季入学試験願書受付開始 (～9日迄)
	9	1	金	9月入学者新入生ガイダンス・学 習指導
				9月入学者履修登録開始 (～4日12:00迄)
		2	土	秋季入学試験（工学研究科）
		4	月	9月入学者TA申込締切
		8	金	修士・博士学位前期合格者発表
				Web成績発表 (前期完結科目のみ)
		13	水	夏季休業終了
		14	木	後期開始・後期授業開始 /令和5年9月入学者入学
		30	土	前期卒業式・学位記授与式 (修士)

年月日				事 項
5	10	2	月	秋季入学試験合格発表
		5	木	秋季大学院学位記授与式 (博士)
		31	火	外国人留学生（国外志願者）入 学願書締切
	12	4	月	個別の入学資格審査対象者・外 国人（国内志願者）の入学願書 受付開始（～6日迄）
		8	金	工学研究科大学院進学説明会 (3年次生対象)
		27	水	冬季休業開始
	1	4	木	冬季休業終了
		9	火	後期授業再開
		15	月	春季入学試験願書受付開始 (～18日迄)
		23	火	後期授業終了
		25	木	大学院研究生出願受付開始 (～31日迄)
	2	8	木	飛び級願書受付開始（～9日迄）
		16	金	春季入学試験（工学研究科）
	3	1	金	修士・博士学位合格者発表
				修士論文製本原稿提出受付開始 (～5日迄)
				Web成績発表
		4	月	春季入学試験合格発表
		14	木	春季大学院学位記授与式 (博士)
		19	火	卒業式・学位記授与式（修士）
6	3	27	水	在学生履修登録書類配付・履修 登録開始（～31日迄）
		31	日	学年終了

2.4 専門科目一覧

【機械工学専攻 博士課程前期】令和5年度入学生（23台）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
材料力学専修	材料力学特別研究	8	非 専 修	破壊力学	2
	材料力学特論Ⅰ	2		応用数学特論Ⅰ	2
	材料力学特論Ⅱ	2		応用数学特論Ⅱ	2
流体工学専修	流体工学特別研究	8		応用物理学特論Ⅰ	2
	流体力学特論	2		応用物理学特論Ⅱ	2
	流体機械特論	2		解析力学	2
熱工学専修	熱工学特別研究	8		応用力学特別講義	2
	熱工学特論	2		エネルギー工学特別講義	2
	熱機関特論	2		設計工学特別講義	2
機械設計・工 作法専修	機械設計・工 作法特別研究	8			
	機械設計特論	2			
	工 作法特論	2			
機械力学・制 御専修	機械力学・制御特別研究	8			
	機械力学特論	2			
	機械制御特論	2			

【電気工学専攻 博士課程前期】令和5年度入学生（23台）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
電気基礎専修	電気基礎特別研究	6	非 専 修	応用数学特論	2
	電気基礎特別実験	4		応用物理学特論	2
	電気基礎特論Ⅰ	4		電磁解析特論	2
	電気基礎特論Ⅱ	4		電気回路特論	2
パワーエレクトロニクス専修	パワーエレクトロニクス特別研究	6		放電プラズマ特論	2
	パワーエレクトロニクス特別実験	4		電気絶縁特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅰ	4		自動制御特論	2
	パワーエレクトロニクス特論Ⅱ	4		環境電気特論	2
電力工学専修	電力工学特別研究	6		パルス・ディジタル応用特論	2
	電力工学特別実験	4		電気機器応用特論	2
	電力工学特論Ⅰ	4		信号解析特論	2
	電力工学特論Ⅱ	4		電気エネルギーシステム特論Ⅰ	2
応用電気工学専修	応用電気工学特別研究	6		電気エネルギーシステム特論Ⅱ	2
	応用電気工学特別実験	4			
	応用電気工学特論Ⅰ	4			
	応用電気工学特論Ⅱ	4			

【電子情報工学専攻 博士課程前期】令和5年度入学生（23台）

主要科目			共通科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
集積回路専修	集積回路特別研究Ⅰ	4	応用数学特論Ⅰ	2
	集積回路特別研究Ⅱ	6	応用数学特論Ⅱ	2
	半導体工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅰ	2
	集積回路工学特論	2	電子情報工学特別講義Ⅱ	2
	電子回路設計特論	2	技術マネジメント特論	2
	固体電子回路特論	2	システム開発特別演習	2
	応用物理学特論	2	ITプロジェクト管理特論	2
通信システム専修	通信システム特別研究Ⅰ	4	システム開発特別実習	2
	通信システム特別研究Ⅱ	6	プロジェクト型開発特別演習・実習	4
	移動通信システム特論	2		
	通信工学特論	2		
オプトエレクトロニクス専修	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅰ	4		
	オプトエレクトロニクス特別研究Ⅱ	6		
	光エレクトロニクス特論Ⅰ	2		
	光エレクトロニクス特論Ⅱ	2		
計算機システム専修	計算機システム特別研究Ⅰ	4		
	計算機システム特別研究Ⅱ	6		
	計算機工学特論Ⅰ	2		
	計算機工学特論Ⅱ	2		
情報アーキテクチャ専修	情報アーキテクチャ特別研究Ⅰ	4		
	情報アーキテクチャ特別研究Ⅱ	6		
	ネットワークシステム特論	2		
	ロボティクス特論Ⅰ	2		
	ロボティクス特論Ⅱ	2		
知能工学専修	知能工学特別研究Ⅰ	4		
	知能工学特別研究Ⅱ	6		
	言語工学特論	2		
	情報論理学特論	2		
情報システム開発工学専修	情報システム開発工学特別研究Ⅰ	4		
	情報システム開発工学特別研究Ⅱ	6		
	システム・ソフトウェア工学特論	2		
	情報ネットワーク特論	2		
	情報セキュリティ特論	2		
メディア工学専修	メディア工学特別研究Ⅰ	4		
	メディア工学特別研究Ⅱ	6		
	音声情報処理特論	2		
	画像情報処理特論	2		

【化学システム工学専攻 博士課程前期】令和5年度入学生（23台）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
プロセスシステム工学専修	プロセスシステム工学特別研究	6	非 専 修	化学プロセス特論	2
	プロセスシステム工学特別実験	4		プロセス設計特論	2
	プロセスシステム工学特論	4		プロセス制御特論	2
複合材料専修	複合材料特別研究	6		バイオマス変換工学特論	2
	複合材料特別実験	4		エネルギー物質化学特論	2
	複合材料特論	4		高分子化学特論	2
界面プロセス工学専修	界面プロセス工学特別研究	6		輸送現象特論	2
	界面プロセス工学特別実験	4		界面プロセス工学特論	2
	物質移動工学特論	4		無機機能材料特論	2
移動現象工学専修	移動現象工学特別研究	6		触媒工学特論	2
	移動現象工学特別実験	4		流体工学特論	2
	移動現象工学特論	4		伝熱工学特論	2
応用触媒化学専修	応用触媒化学特別研究	6		環境工学特論	2
	応用触媒化学特別実験	4		環境物理学特論	2
	応用触媒化学特論	4		応用数学特論Ⅰ	2
化工流体工学専修	化工流体工学特別研究	6		応用数学特論Ⅱ	2
	化工流体工学特別実験	4		応用物理学特論Ⅰ	2
	化工流体工学特論	4		応用物理学特論Ⅱ	2
反応工学専修	反応工学特別研究	6		化学工学特論Ⅰ	1
	反応工学特別実験	4		化学工学特論Ⅱ	1
	反応工学特論	4		化学工学特論Ⅲ	1
化学安全工学専修	化学安全工学特別研究	6		化学工学特論Ⅳ	1
	化学安全工学特別実験	4		英語論作文スキル特論Ⅰ	2
	化学安全工学特論	4		英語論作文スキル特論Ⅱ	2
工業化学・高分子専修	工業化学・高分子特別研究	6			
	工業化学・高分子特別実験	4			
	工業化学・高分子特論	4			
工業無機化学専修	工業無機化学特別研究	6			
	工業無機化学特別実験	4			
	工業無機化学特論	4			

【建設工学専攻 博士課程前期】令和5年度入学生（23台）

主要科目			特修科目		
部門	授業科目	単位数	部門	授業科目	単位数
建築学専修	建築学特別研究	6	非 専 修	弾塑性構造力学特論	2
	建築学特別実験・実習	4		合成構造耐震設計特論	2
社会デザイン 工学専修	社会デザイン工学特別研究	6		木質材料構造学特論	2
	社会デザイン工学特別実験・実習	4		橋梁学特論	2
				マトリックス構造解析特論	2
				材料力学史特論	2
				鋼構造弾塑性学特論	2
				鋼構造座屈特論	2
				地震工学特論	2
				応答制御構造特論	2
				建築構造デザイン特論	2
				構造計画特論	2
				コンクリートの材料科学特論	2
				コンクリート工学特論	2
				建設材料の耐久性特論	2
				複合建設材料工学特論	2
				流体シミュレーション特論	2
				環境水理学特論	2
				浄化機能特論	2
				応用生態工学特論	2
				地域・住宅地計画特論	2
				都市計画・まちづくり特論	2
				都市デザイン特論	2
				交通計画特論	2
				地域計画・設計特論	2
				景観学特論	2
				建築熱環境計画特論	2
				建築空気環境計画特論	2
				建築光環境工学特論	2
				建築音環境工学特論	2
				道路舗装工学特論	2
				地盤環境工学特論	2
				地盤防災工学特論	2
				地盤シミュレーション工学特論	2
				建築意匠特論Ⅰ	2
				建築意匠特論Ⅱ	2
				都市史特論	2
				建築史特論	2
				建築設計計画特論	2
				空間計画学特論	2
				建築構造設計学特論	2
				地球環境建築生産特論	2
				建築デザイン演習Ⅰ	4
				建築デザイン演習Ⅱ	4
				建設設計実習Ⅰ	2
				建設設計実習Ⅱ	2
				建設設計実習Ⅲ	2
				建設設計実習Ⅳ	2

【資源循環・環境工学専攻 修士課程】令和5年度入学生（23台）

主要科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
資源循環工学専修	資源循環工学特別研究	8	耐久性制御工学特論	2
	資源循環工学特別実験・実習	4	材料特性特論	2
			資源循環型経済システム特論	2
			廃棄物管理システム特論	2
			グリーン物流計画特論	2
環境化学制御専修	環境化学制御特別研究	8	汚染物質処理特論	2
	環境化学制御特別実験・実習	4	環境化学装置特論	2
			環境化学特論	2
			水質管理システム特論	2
			エネルギー変換工学特論	2
環境生態制御専修	環境生態制御特別研究	8	廃棄物資源循環工学特論	2
	環境生態制御特別実験・実習	4	環境微生物工学特論	2
			水圏生態学特論	2
			土壌生態学特論	2
			環境アセスメント特論	2
地域環境専修	地域環境特別研究	8	環境調和型都市計画特論	2
	地域環境特別実験・実習	4	国際環境計画特論	2
			環境法特論	2
			環境情報学特論	2
			コミュニケーションスキル特論	2
環境マネジメント専修	環境マネジメント特別研究	8	環境データ解析特論	2
	環境マネジメント特別実習	4	環境行政学特論	2
			環境物理学特論	2
			中国文化環境特論	2
			韓国朝鮮文化環境特論	2
東アジア文化環境専修	東アジア文化環境特別研究	8	環境監査特論Ⅰ	2
	東アジア文化環境特別実習	4	環境監査特論Ⅱ	2
			英語論作文スキル特論Ⅰ	2
共通必修科目			英語論作文スキル特論Ⅱ	2
授業科目		単位数		
資源循環総合演習		6		
実践的環境教育総合実習Ⅰ		2		
共通選択科目				
授業科目		単位数		
実践的環境教育総合実習Ⅱ		2		

【エネルギー・環境システム工学専攻 博士課程後期】令和5年度入学生（23台）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
熱エネルギー工学専修	熱エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	応用エネルギー特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	熱エネルギー移動現象特論	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	電力システム工学特論A	2
	熱エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	電力システム工学特論B	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	誘電体物性工学特論	2
	熱エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	都市排水処理工学特論	2
電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学特別研究Ⅰ	2	再生資源利用工学特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅱ	2	建築環境システム特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅲ	2	都市計画特論	2
	電気エネルギー工学特別研究Ⅳ	2	免震・制震設計特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅰ	2	地盤防災学特論	2
	電気エネルギー工学特別演習Ⅱ	2	建築計画特論	2
都市環境工学専修	都市環境工学特別研究Ⅰ	2	舗装・地盤環境工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅱ	2	構造工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅲ	2	橋梁工学特論	2
	都市環境工学特別研究Ⅳ	2	交通・都市システム特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅰ	2	建築生産工学特論	2
	都市環境工学特別演習Ⅱ	2	耐震工学特論	2
環境材料工学専修	環境材料工学特別研究Ⅰ	2	景観デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅱ	2	住環境デザイン特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅲ	2	材料強度学特論	2
	環境材料工学特別研究Ⅳ	2	生体材料学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅰ	2	構造材料工学特論	2
	環境材料工学特別演習Ⅱ	2	高分子材料工学特論	2
環境プロセス工学専修	環境プロセス工学特別研究Ⅰ	2	材料強度解析特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅱ	2	機械材料学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅲ	2	界面コロイド工学特論	2
	環境プロセス工学特別研究Ⅳ	2	環境装置工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅰ	2	環境分離工学特論	2
	環境プロセス工学特別演習Ⅱ	2	環境適合化学プロセス特論	2
資源循環システム工学専修	資源循環システム工学特別研究Ⅰ	2	生物材料工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅱ	2	環境工学特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅲ	2	環境触媒特論	2
	資源循環システム工学特別研究Ⅳ	2	廃棄物処理工学特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅰ	2	廃棄物処分システム特論	2
	資源循環システム工学特別演習Ⅱ	2	建設廃棄物処理特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

【情報・制御システム工学専攻 博士課程後期】令和5年度入学生（23台）

研究指導科目			特修科目	
部門	授業科目	単位数	授業科目	単位数
情報処理工学専修	情報処理工学特別研究Ⅰ	2	言語工学特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅱ	2	言語工学特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅲ	2	知能処理特論A	2
	情報処理工学特別研究Ⅳ	2	知能処理特論B	2
	情報処理工学特別研究Ⅴ	2	知能処理特論C	2
	情報処理工学特別研究Ⅵ	2	情報処理工学特論A	2
情報伝送工学専修	情報伝送工学特別研究Ⅰ	2	情報処理工学特論B	2
	情報伝送工学特別研究Ⅱ	2	情報処理工学特論C	2
	情報伝送工学特別研究Ⅲ	2	情報処理工学特論D	2
	情報伝送工学特別研究Ⅳ	2	伝送素子特論	2
	情報伝送工学特別研究Ⅴ	2	情報伝送工学特論A	2
	情報伝送工学特別研究Ⅵ	2	情報伝送工学特論B	2
システム制御工学専修	システム制御工学特別研究Ⅰ	2	情報伝送工学特論C	2
	システム制御工学特別研究Ⅱ	2	情報伝送工学特論D	2
	システム制御工学特別研究Ⅲ	2	パワーエレクトロニクス特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅳ	2	パワーエレクトロニクス特論B	2
	システム制御工学特別研究Ⅴ	2	機械システム制御特論A	2
	システム制御工学特別研究Ⅵ	2	機械システム制御特論B	2
機能デバイス工学専修	機能デバイス工学特別研究Ⅰ	2	機械システム制御特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅱ	2	機能デバイス工学特論A	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅲ	2	機能デバイス工学特論B	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅳ	2	機能デバイス工学特論C	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅴ	2	機能デバイス工学特論D	2
	機能デバイス工学特別研究Ⅵ	2	デバイス材料工学特論	2
部門共通	インターンシップ	2		

【博士課程後期における学際プログラム】 令和5年度入学生（23台）

部門	研究指導科目		特修科目	
	授業科目	単位数	授業科目	単位数
アグリシステム工学プログラム	バイオマス利用工学特別研究Ⅰ	2	発酵工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅱ	2	環境プロセス工学特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅲ	2	バイオマテリアル特論	2
	バイオマス利用工学特別研究Ⅳ	2	アグリプロセス特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅰ	2	スマートアグリ特論	2
	バイオマス利用工学特別演習Ⅱ	2	アグリビジネス特論	2
	アグリプロセス工学特別研究Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅱ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅲ	2		
	アグリプロセス工学特別研究Ⅳ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅰ	2		
	アグリプロセス工学特別演習Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅱ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅲ	2		
	スマートアグリ特別研究Ⅳ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅰ	2		
	スマートアグリ特別演習Ⅱ	2		
都市建設工学プログラム	建築耐震工学特別研究Ⅰ	2	建築耐震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅱ	2	道路地盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅲ	2	建築免震・制震性能評価特論	2
	建築耐震工学特別研究Ⅳ	2	都市基盤保全システム特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅰ	2	都市交通政策特論	2
	建築耐震工学特別演習Ⅱ	2	都市環境情報システム特論	2
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅱ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅲ	2		
	道路地盤保全システム工学特別研究Ⅳ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅰ	2		
	道路地盤保全システム工学特別演習Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅱ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅲ	2		
	建築免震・制震設計特別研究Ⅳ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅰ	2		
	建築免震・制震設計特別演習Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅰ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅱ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅲ	2		
	維持管理システム工学特別研究Ⅳ	2		
	維持管理システム工学特別演習Ⅰ	2		
	維持管理システム工学特別演習Ⅱ	2		
共通科目				
授業科目				単位数
インターンシップ				2
公共政策学特論				2
経済マネジメント特論				2
防災通信特論				2

2.5 修士論文と博士論文、学生が受賞した学術賞

2.5.1 修士論文

令和5年度 修士論文論題及び審査委員一覧

専攻	主査	副査	論題
機械工学 （12名）	岩村	安東	受動ストレージ要素を利用した省エネルギーマニピュレータの関節構成と制御手法の検討
	稲毛	高尾	SHELL MODELを用いた新たなLarge Eddy Simulation modelの開発
	岩村	安東	物体搬送時の操作力最小化と二関節筋の役割に関する基礎的考察
	岩村	森山	経路パラメータ法によるマルチボディシステムの軌道生成とゴルフスイング最適化への応用
	岩村	宮田	マルチボディダイナミクスを用いた複数台ドローンの物理的な結合方法と制御手法の検討
	岩村	高尾	マルチボディシステムの汎用的な力制御手法の開発とその介護リフトへの応用
	岩村	山辺	粘弾性体を含むマルチボディシステムの効率的な解析手法と非線形ばねの導入による精度向上
	柳瀬	森山	機械学習を用いた微小欠陥を含む鉄鋼材料の疲労限度推定
	稲毛	林	数値シミュレーションを用いた内燃機関における燃料の燃焼挙動と流動特性に関する研究
	遠藤	山辺	フェライト・パーライト球状黒鉛鋳鉄の水素吸蔵特性と水素脆化特性に及ぼす熱処理の影響
	稲毛	宮田	SHELL MODELを用いた安定成層乱流のモデル化
	稲毛	林	パラフィン燃料を用いたハイブリッドロケットのスケール効果に関する研究
電気工学 （12名）	花井	小浜	窒素ファインバブル付加菜種油の電気的特性に関する研究
	根葉	辻	三相PWMデュアル電流形インバータによる誘導機運転特性に関する研究
	江田	松岡	確率マップを用いた画像の局所的コントラスト強調法に関する研究
	孟	西田	周波数領域解析法を用いた電磁波形の作成とそのデータの機械学習による均質媒質中の空隙情報の推定に関する研究
	篠原	西田	炭化系薄膜のプラズマ化学気相堆積における反応解析に関する研究
	花井	小浜	ポッケルス素子を用いた電界測定に及ぼす放電で生じる空間電荷の影響
	江田	松岡	スパイラル3次元DCT符号を用いた掌紋認証システムに関する研究
	根葉	小浜	電流形インバータ系統電圧補償システムの構成と制御法に関する研究
	西田	孟	改良型スパッタリング法によるPbTiO ₃ のナノ結晶育成における表面状態とアニール処理の影響
	根葉	小浜	電流形コンバータ無効電力補償システムの動作特性に関する研究
	孟	西田	人工ニューラルネットワークを用いたコンクリート中の鉄筋情報の推定に関する基礎研究
	小浜	住吉谷	電力用可変容量コンデンサとそのLLC共振コンバータへの応用に関する研究

2.5 修士論文と博士論文、学生が受賞した学術賞

2.5.1 修士論文

令和5年度 修士論文論題及び審査委員一覧

専攻	主査	副査	論題
電子情報工学 （13名）	モシニャガ	高橋	医療施設における認知症患者の徘徊防止システムに関する研究
	吉村	中西	副詞「それぞれ」を用いた並列構造を含む日本語文の構文解析に関する研究
	鶴田	高橋	多角的な地理情報を用いた分析による斜面崩壊地の自動判別に関する研究
	鶴田	高橋	尺度空間法による地形分類図の公開用データに関する研究
	太郎丸	大橋	電波暗室におけるMIMO伝搬計測による伝搬行列の特異値評価
	大橋	太郎丸	樋門遠隔監視・制御のための太陽電池を活用した水位計測システムの長期間運用
	吉村	中西	テキストと表の自動関連付けに関する研究
	鶴田	中村	尺度空間法による地形分類図の公開データベースシステムの構築に関する研究
	太郎丸	大橋	移動体通信におけるヌル空間拡張法を適用した分散MIMOに関する検討
	文仙	鈴木	ホログラフィックメモリにおける信号光の小型光学系を用いた高精度複素振幅変復調に関する研究
	太郎丸	大橋	擬似軌道回路を用いた線路破断・在線の判断方法と位置検知手法の確立
	鶴田	小野	心理分析用3次元仮想会議室におけるプレゼンテーション機能の高度化に関する研究
	大橋	太郎丸	遠隔地樋門制御のためのLPWAを介したVR制御システムの構築実証
化学システム工学 （11名）	松隈	鈴川	ヘッダー部側面から流入するガスのハニカムと充填層の流動均一化
	新戸	重松、瀬戸	カテコール基含有糖鎖誘導体を利用した生体結合性材料の開発
	加藤（貴）	加藤（勝）	二酸化炭素の電気化学的還元を用いるリグニン由来炭素電極の合成
	松隈	鈴川	糖水溶液におけるファインバブルの発生
	重松	加藤（勝）	繊維に収着したアロマオイルの引火点降下
	重松	新戸	エタノール発酵に対するキノコ菌糸体の添加効果
	重松	加藤（勝）	金属が配位した1H-1, 2, 3-トリアゾールの熱分解挙動
	野田	加藤（貴）	機械学習モデルを利用した化学気相蒸着法による単結晶グラフェン拡大合成
	松隈	重松	バージンポリプロピレンの力学物性及び内部構造に与えるせん断緩和機構のメカニズム解析
	重松	瀬戸	芳香成分の保湿剤への溶解性と揮発速度に対するセルロースナノファイバーの添加効果
	松隈	重松	特殊ブレーカープレートによる押出成形がポリエチレンの力学特性に及ぼす影響

2.5.1 修士論文

令和5年度 修士論文論題及び審査委員一覧

専攻	主査	副査	論題
建設工学 <			

2.5.2 博士論文

令和5年度 博士論文論題及び審査委員一覧

区分	専攻	主査	副査	論題
課程博士	エネルギー・環境システム工学専攻	松隈	山本	Analyzing the Relationship between Mechanical Properties and Inner Structure of Polyethylene virgin film with Different Extrusion Conditions
			梶原 (九州大学)	
		高山	堺	タグチメソッドと非線形材料特性を考慮したFEM解析を組み合わせた履歴型免震ダンパーの最適設計手法に関する研究
			小林 (明治大学)	
		添田	村上	凍害と塩害の複合劣化抵抗性に及ばず特殊混和材の効果に関する研究
			濱田 (九州大学)	
		佐藤（研）	渡辺（亮）	管理型最終処分場でのシートキャッピング施工とバイオアッセイを用いた埋立管理に関する研究
			島岡 (九州大学)	
	情報・制御システム工学専攻	大橋	太郎丸	ハラスメント検出に向けた主観ストレスの異なる被害者の心拍変動パターン分析
			吉村	
			井上 (九州工業大学)	

2.5.3 学生が受賞した学術賞

令和5年度 受賞一覧

専攻 (課程)	受賞時 の年次	賞名	授与団体	年月
電気工学専攻 【博士課程前期】	2年 (修了 後)	第15回九州支部賞 全国大会優秀賞	電気設備学会	令和5年5月
	2年	第15回九州支部賞 全国大会優秀賞	電気設備学会	令和5年5月
	2年	講演奨励賞	日本表面真空学会九 州支部	令和5年6月
電子情報工学専攻 【博士課程前期】	1年	Best Paper Award	The 10th International Conference on Electrical	令和5年9月
	1年	Best Paper Award Runner-Up	The 2023 IEEE Region 10 Symposium (TENSYP 2023)	令和5年9月
	2年	映像情報メディア学会マルチ ストレージ (MMS) 研究会 2023年度学生奨励賞	映像情報メディア学 会マルチメディアス トレージ (MMS) 研究 会	令和6年1月

2.5.3 学生が受賞した学術賞

令和5年度 受賞一覧

専攻 (課程)	受賞時 の年次	賞名	授与団体	年月
化学システム工学専攻 【博士課程前期】	2年	第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 優秀ポスター賞	化学工学会 九州支部	令和5年7月
	2年	黎明研究者賞（ポスター発表部門）	日本木材学会九州支部	令和5年9月
	2年	化学工学会第54回秋季大会 優秀ポスター賞	化学工学会 材料界面部会	令和5年9月
	1年	優秀講演賞	火薬学会	令和5年11月
	1年	優秀講演賞	火薬学会	令和5年11月
	1年	優秀学生講演賞	日本航空宇宙学会 西部支部	令和5年12月

2.5.3 学生が受賞した学術賞

令和5年度 受賞一覧

専攻 (課程)	受賞時 の年次	賞名	授与団体	年月
建設工学専攻 【博士前期課程】	1年	GEE2023 Excellent Presentation Award	Geo-Environmental Engineering 2023	令和5年5月
	2年	第77回セメント技術大会優秀講演者賞	一般社団法人セメント協会	令和5年5月
	2年	令和5年度全国大会 第78回年次学術講演会優秀講演者賞	土木学会	令和5年9月
	1年	2023年度日本建築学会九州支部都市計画委員会夏季セミナー成果発表会 佳作	一般社団法人日本建築学会九州支部	令和5年9月
	1年	2023年度日本建築学会大会 鋼構造部門 若手優秀発表賞	一般社団法人 日本建築学会	令和5年10月
	2年	鋼構造シンポジウム2023 アカデミーセッション優秀発表賞	一般社団法人 日本鋼構造協会	令和5年11月
	2年	令和5年度土木学会西部支部研究発表会 優秀講演者賞	公益財団法人土木学会西部支部	令和6年3月
	2年	令和5年度土木学会西部支部研究発表会 優秀講演者賞	公益財団法人土木学会西部支部	令和6年3月

第3章 研究活動

3.1 学術論文と学会発表、学術賞

令和5年度 論文等研究成果の発表状況

学科・グループ	論文	講演	著書	その他
機械工	37	98	3	7
電気工	25	30	0	0
電子情報工	53	46	0	2
化学システム工	31	95	4	19
社会デザイン工	49	144	1	27
建築	12	74	3	6
資源循環・環境	10	39	1	7
図学	2	0	0	0
計	219	526	12	68

令和5年度 学術賞受賞実績

令和5年度 論文等研究成果の発表状況

学科・グループ	受賞数
機械工	1
電気工	5
電子情報工	4
化学システム工	9
社会デザイン工	6
建築	2
資源循環・環境	0
図学	0
計	27

3.2 科学研究費採択課題一覧

令和5年度

科学研究費（独立行政法人日本学術振興会 所管）

制度	研究費目	学科・グループ	課題
補助金分	基盤研究（B）	電子情報工学科	情報指向無線ネットワークを利用した災害時情報共有システムの設計
		化学システム工学科	漢方薬残渣の発酵促進効果を活用した第二世代バイオエタノール製造の高効率化
		化学システム工学科	微生物に対する微小プラスチックと化学物質の複合毒性発現のメカニズム究明および制御
基金分	基盤研究（C）	機械工学科	次世代冷媒の状態方程式最適化に資する高精度液相音速測定および密度との同時計測
		電気工学科	ステレオイベントカメラを用いた放電現象の時空間温度分布計測システムの開発
		電気工学科	原料分子のパルスプラズマ分解によるカーボン膜形成とその反応の解明
		電気工学科	協働ロボットの表面に巻き付け可能な紐状近接覚・触覚センサ
		電子情報工学科	階層化による冗長ヘッダ情報の削減と新フレームフォーマットの開発
		電子情報工学科	地方議会活動コーパス構築のためのレガシーPDF文書の構造化に関する研究
		電子情報工学科	道路走行映像の自由視点再現技術を活用した自動運転における運転者の挙動分析
		電子情報工学科	Computational Ethology のための複数個体行動追跡手法の開発
		電子情報工学科	ロボット運用環境のシナリオベースシミュレーションの体系化に関する研究
		化学システム工学科	Development of supercritical carbon dioxide mediated microparticles of juvenile hormone analogues (JHAs) for the elimination of mosquito-borne diseases
		化学システム工学科	酵母表面の糖鎖を利用したバイオ分離材料の開発と病原体捕捉システムへの応用
		化学システム工学科	プラント安全のための有害アラームリアルタイム検出型論理アラーム処理技術の開発
		化学システム工学科	反応解析に基づいた小型衛星用高エネルギーイオン液体推進剤の創製
		化学システム工学科	高圧ガス－水系気液界面での薬剤含有高分子ナノマイクロカプセル創製
		化学システム工学科	テラーメイドな二酸化炭素の電気化学転換を実現する金属膜積層電極の開発
		社会デザイン工学科	木質バイオマス灰を用いた環境安全性に配慮した再生砕石技術の確立に関する研究
		社会デザイン工学科	認知機能低下高齢者にもやさしい土木デザインのパターンとサポートコミュニティの構築
		社会デザイン工学科	炭素固定化量の最大化と中性化抑制の両立による新たな低炭素型コンクリートの開発
		社会デザイン工学科	比重差選別と炭酸化处理を併用した改質焼却主灰の土木資材利用に関する研究
		建築学科	戸建て住宅地の組合方式による日本型ネイバーフッドリノベーションの提案
		建築学科	鋼構造オフィスビルの木質化へ向けた木質制振壁の開発に関する研究
		建築学科	躯体と内外装材を一体とした外壁の耐久性評価システムと高性能外壁保護仕上材の開発

科学研究費（独立行政法人日本学術振興会 所管）

制度	研究費目	学科・グループ	課題
基金分	若手研究	機械工学科	観察窓付き淀み点燃焼器を用いたハイブリッドロケット用低融点燃料の燃焼モデル確立
		機械工学科	水素影響下におけるオーステナイト系析出強化材の疲労限度評価法の確立
		機械工学科	ナノ繊維添加によるハイブリッドCFRTPの接合強度・耐久性発現メカニズムの解明
		電気工学科	窒素ファインバブルや非イオン界面活性剤を用いた菜種油の高性能化に向けた基礎研究
		社会デザイン工学科	振動特性に着目した橋梁損傷検出の為に全自動モニタリングシステムの開発と実験的検証
		建築学科	地域主体のまちづくりにおける創発的福祉モデルの持続性に関する研究

※令和5年度に内約があった科研費

※科研費補助金分：令和4年度からの繰越課題を除く。

※科研費基金分：令和4年度からの延長課題を除く。

3.3 産学連携活動の外部資金（受託研究・研究助成寄附金・共同研究）

令和5年度

受託研究費の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	2,515,000 円
電気工学科	0 円
電子情報工学科	48,182,652 円
化学システム工学科	28,903,000 円
社会デザイン工学科	40,061,369 円
建築学科	1,100,000 円
資源循環・環境グループ	36,896,191 円
工学部（45件）	157,658,212 円

研究助成寄附金の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	4,600,000 円
電気工学科	950,000 円
電子情報工学科	2,080,000 円
化学システム工学科	4,550,000 円
社会デザイン工学科	9,500,000 円
建築学科	5,300,000 円
資源循環・環境グループ	1,800,000 円
工学部（40件）	28,780,000 円

共同研究の学科・グループ別合計金額

学科・グループ	金額
機械工学科	9,225,000 円
電気工学科	7,500,000 円
電子情報工学科	23,200,000 円
化学システム工学科	12,170,000 円
社会デザイン工学科	13,113,000 円
建築学科	16,081,829 円
資源循環・環境グループ	1,500,000 円
工学部（49件）	82,789,829 円

第4章 入学・広報活動

4.1 入試制度

工学部における令和6年度入試（令和5年度実施）制度は、前年度と同様である。

学科	入学定員	令和5年度入試（令和4年度実施）における募集人員												
		学校推薦型 ・ 総合型選抜			一般選抜						特別選抜			
		学校推薦型 （A方式）	総合型（工学部）	総合型（アスリート特別）	系統別日程	前期日程	後期日程	前期日程・共通テスト併用型	共通 テスト 利用型		社会人	帰国生徒	編・転・学士	学部留学生
									I期	II期				
機 械 工 学 科	110	14	2	3 程度	10	55	3	8	4	3	若干人	若干人	若干人	若干人
電 気 工 学 科	110	14	3		10	55	3	8	4	3				
電 子 情 報 工 学 科	150	19	2		14	75	4	13	5	4				
化学システム工学科	110	12	3		10	55	3	8	4	3				
社会デザイン工学科	110	14	2		10	50	3	13	4	3	若干人			
建 築 学 科	110	14	2		10	50	3	13	4	3				

4.2 入試状況

令和6年度入試の工学部における実施状況は以下の通りである。

学科	推薦専願								併願-大濠			併願-若葉			留学生	
	総合	特別連携指定校	指定校	公募型(A)	スポ特	大濠	若葉	計	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	合格者数	入学者数
機械工学科	2	11	5	11	0	1	3	33	2	1	1	0	0	0	0	0
電気工学科	4	6	9	6	0	0	5	30	1	1	1	0	0	0	0	0
電子情報工学科	2	16	4	22	0	4	6	54	8	5	1	3	3	3	3	2
化学システム工学科	4	10	9	5	0	1	1	30	4	4	1	0	0	0	1	1
社会デザイン工学科	6	10	7	10	0	0	4	37	0	0	0	0	0	0	0	0
建築学科	4	12	3	22	0	5	5	51	6	5	1	0	0	0	1	0

学科	系統別				前期日程				後期日程			
	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数
機械工学科	10	167	57	3	55	693	333	47	3	20	4	2
電気工学科	10	180	65	2	55	517	261	55	3	9	3	2
電子情報工学科	14	269	83	10	75	1325	490	69	4	27	7	6
化学システム工学科	10	145	72	7	55	453	224	27	3	10	10	7
社会デザイン工学科	10	158	62	3	50	423	194	37	3	16	9	3
建築学科	10	131	34	5	50	713	256	45	3	18	3	5

学科	共通テスト併用型				共通テスト利用型Ⅰ期				共通テスト利用型Ⅱ期			
	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数
機械工学科	10	306	215	17	4	132	90	4	3	70	39	5
電気工学科	10	259	191	11	4	71	47	2	3	46	23	1
電子情報工学科	140	586	299	11	5	237	129	2	4	114	61	1
化学システム工学科	10	223	198	25	4	94	69	4	3	32	12	2
社会デザイン工学科	10	232	185	22	4	73	50	0	3	31	16	1
建築学科	10	346	146	11	4	140	85	9	3	48	24	2

4.3 模擬講義

令和5年度に工学部で行った模擬講義は以下の通りである。学科略称を以下に示す。

機械工学科 (TM) 電気工学科 (TE) 電子情報工学科 (TL)

化学システム工学科 (TK) 社会デザイン工学科 (TC) 建築学科 (TA)

開催日	所在地	高校名	対応	対象学年	講義テーマ	出張者	学科
4/27	福岡	光陵	対面	3	材料の強さと AI	柳瀬 圭児	TM
6/29	福岡	常磐	対面	1	工学部ガイダンス(機械工学)	岩村 誠人	TM
7/6	山口	下関南	学内	3	『「触媒」の科学～エネルギーを支え環境を守る触媒』	久保田 純	TK
7/7	福岡	福工大城東	学内	2	景観デザイン-快適な都市の作り方	柴田 久	TC
7/14	福岡	福工大城東	学内	1	景観デザイン-快適な都市の作り方	柴田 久	TC
7/21	福岡	香椎	対面	2	人工知能 (AI) の学習と画像処理	折居 英章	TE
8/22	福岡	八女学院	対面	1, 2, 3	環境・エネルギー問題およびその改善技術	東 英子	TK
8/22	山口	下関南	学内	2	対話ロボットと人工知能	高橋 伸弥	TL
8/25	福岡	八女	学内	1	生物材料とバイオエネルギー	重松 幹二	TK
8/25	福岡	八女	学内	1	人工知能の学習と画像処理	折居 英章	TE
8/25	福岡	八女	学内	1	雨水活用のすすめ	渡辺 亮一	TC
9/14	福岡	東福岡	対面	1	工学部ガイダンス(電気・電子)	篠原 正典	TE
9/20	山口	下関南	対面	1	「触媒」の化学～エネルギーを支え環境を守る触媒～	久保田 純	TK
9/28	佐賀	三養基	対面	1, 2	工学部ガイダンス(建築)	高山 峯夫	TA
11/11	福岡	博多青松	対面	-	建築の美しさと歴史・意匠／デザイン	太記 祐一	TA
3/14	山口	ザビエル	対面	1, 2	地球上にあるモノを測る方法	大隣 昭作	TC
3/15	山口	新南陽	対面	1, 2	地震から人と家を守る	高山 峯夫	TA

5.1 学生在籍状況

令和5年度工学部学籍一覧表

令和5年5月1日現在

年次 学科	学年 入学年	1年 2023	2年 2022	3年 2021	4年 2020	5年 2019	6年 2018	7年 2017	8年 2016	合計
機械工	女子	4	2	3	7					16
	休学			3	2					5
	在籍	112	107	110	92	7	6	0	1	435
電気工	女子	2		1	1					4
	休学				2		1			3
	在籍	117	99	100	97	7	6	1	0	427
電子情報工	女子	15	12	10	8	3				48
	休学	1				2				3
	在籍	149	147	141	132	22	6	4	0	601
化学システム工	女子	27	33	23	34	1				118
	休学					1				1
	在籍	99	100	90	103	6	4	0	0	402
社会デザイン工	女子	17	15	22	16					70
	休学			1						1
	在籍	114	92	118	102	14	1	0	0	441
建築	女子	38	35	36	37	3	2			151
	休学				2					2
	在籍	111	118	103	100	16	5	0	2	455
工学部	女子	103	97	95	103	7	2	0	0	407
	休学	1	0	4	6	3	1	0	0	15
	在籍	702	663	662	626	72	28	5	3	2,761

5.2 学年暦

令和5年度 工学部学年暦

年月日			事 項
令和5年	4	1 土	入学式
		2 日	新入生履修登録ガイダンス
		3 月	新入生履修登録開始（～5日）
		11 火	前期授業開始
	5	21 日	創立記念日
		28 日	父母懇談会（松山）
	6	3 土	父母懇談会（佐賀）
		4 日	父母懇談会（熊本）
		10 土	特待生表彰式
		11 日	父母懇談会（広島）
		18 日	父母懇談会（本学）
		25 日	父母懇談会（宮崎）
	7	2 日	父母懇談会（東京）
		9 日	父母懇談会（那覇）
		24 月	前期授業終了
		25 火	前期定期試験開始
	8	3 木	前期定期試験終了（予備日）
		4 金	夏季休業開始
		5 土	オープンキャンパス
		7 月	前期集中講義（～11日）
	9	4 月	前期成績発表
			後期集中講義（～8日）
		6 水	後期履修登録変更（～8日）
		13 水	夏季休業終了
		14 木	後期授業開始
		15 金	前期学士合格者発表
		16 土	総合型選抜（～10/14日）
		30 土	前期卒業式

年月日			事 項
令和5年	11	3 金	七隈祭（～11月6日）
		18 土	学校推薦型選抜（指定校・附属校）（～19日）
		19 日	帰国生徒、社会人選抜
		26 日	学校推薦型選抜（A方式）
	12	27 水	冬季休業開始
令和6年	1	4 木	冬季休業終了
		5 金	後期授業再開
		13 土	大学入学共通テスト（～14日）
		16 火	後期授業終了
		17 水	後期定期試験開始
		27 土	後期定期試験終了（予備日）
	2	2 金	一般選抜系統別日程
		3 土	一般選抜前期日程（～7日、11日）
		8 木	学部留学生選抜
		14 水	成績発表（4年次生他）
		21 水	第一次学士合格者発表
		22 木	追・再試験開始
	3	29 木	追・再試験終了
		2 土	編・転・学士選抜
		7 木	一般選抜後期日程
		8 金	第二次学士合格者発表
		14 木	在学生成績発表
		19 火	卒業式
		21 木	在学生履修登録（～29日）
		31 日	学年終了

【機械工学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅰ 行列と行列式Ⅱ 力学A 化学A 化学実験	2 2 2 2 2 2 2	物理学C 物理学実験	2 2				
	小計		14		4				
	選択科目	力学B 物理学A 化学B 図学Ⅰ	2 2 2 2	統計 微分積分Ⅲ 微分積分Ⅳ 関数論	2 2 2 2	数理統計Ⅰ 数理統計Ⅱ 物理学D 基礎防災学	2 2 2 2		
	小計		8		8		8		
	計		22		12		8		
専門科目	必修科目	工業力学Ⅰ 技術者リテラシーⅠ	2 1	材料力学Ⅰ 流体力学Ⅰ 流体力学Ⅱ 工業熱力学Ⅰ 工業熱力学Ⅱ 機械加工法 機械制御工学Ⅰ 機械製図法 金属材料学 機械力学Ⅰ 工業力学Ⅱ 機械工作実習	4 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1	材料試験 機械要素設計Ⅰ 機械力学・制御実験	1 2 1	流体力学実験 熱工学実験 卒業論文	1 1 6
	小計		3		24		4		8
	選択科目	機械工作法 機構学 情報処理入門	2 2 2	△ 機械制御工学Ⅱ △ 機械工学設計演習A 計測工学 材料力学Ⅱ 技術者リテラシーⅡ	2 1 2 4 1	固体力学 ターボ機械 工作機械 流体力学Ⅰ 流体力学Ⅱ 伝熱工学Ⅰ 伝熱工学Ⅱ ヒートポンプ・空調工学 機械要素設計Ⅱ 機械制御工学Ⅲ ロボット工学 機械力学Ⅱ △ 機械工学設計演習B △ 機械工学設計演習C △ 機械工学設計演習D △ 機械工学設計演習E 工業経営 数値解析 熱エネルギー変換工学 トライボロジー 機械材料学 複合材料学 機械情報処理 電気工学通論 電子工学通論 化学工学通論 技術者リテラシーⅢ 流体機械 総合工業論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2		
教育科目	小計		6		10		53		
	計		9		34		57		8

(注) △印の機械工学設計演習は5科目中、3科目以上を修得すること。

【電気工学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工学 共通 科目	必修科目	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅰ 行列と行列式Ⅱ 力学A 力学B 物理学実験	2 2 2 2 2 2 2						
	小計		14						
	選択科目	化学A 化学B 図学Ⅰ	2 2 2	統計 化学実験 物理学A 物理学B 微分積分Ⅲ 微分積分Ⅳ 関数論 力学C	2 2 2 2 2 2 2 2	基礎防災学	2		
	小計		6		16		2		
	計		20		16		2		
専門 教育 科目	必修科目	電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 基礎電気工学 電気入門Ⅰ 電気入門Ⅱ	2 2 2 2 1 1 1	電気磁気学Ⅲ 電気磁気学Ⅳ 電気回路Ⅲ 電気回路Ⅳ 電気計測Ⅰ 電気計測Ⅱ 電気物性論Ⅰ 電気物性論Ⅱ 電気機器Ⅰ 電気機器Ⅱ 電気基礎実験Ⅰ 電気基礎実験Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	発変電工学Ⅰ 発変電工学Ⅱ 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 電力伝送工学Ⅰ 電力伝送工学Ⅱ 電気材料Ⅰ 電気材料Ⅱ パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ デジタル制御工学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	卒業論文	3
	小計		11		24		22		3
	選択科目	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	2 2	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ	2 2 2 2	高電圧工学 照明電熱工学 通信工学 数値解析 プログラム技法 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電気法規及び施設管理 応用電気化学大意 ○電気工学実験Ⅰ ○電気工学実験Ⅱ 総合工業論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	電力システム工学 システム工学 電気機器設計学 電気設計製図 ○電気工学実験Ⅲ 技術者倫理・安全管理	2 2 2 2 2 2 2
	小計		4		8		24		12
	計		15		32		46		15

(注) ○印の電気工学実験は3科目中、2科目以上を修得すること。

【電子情報工学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印及び▲印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工学共通科目	必修科目	微分積分Ⅰ	2						
		微分積分Ⅱ	2						
		行列と行列式Ⅰ	2						
		行列と行列式Ⅱ	2						
		力学A	2						
		力学B	2						
		物理学実験	2						
	小計		14						
	選択科目	国語Ⅰ	2	化学A	2	基礎防災学	2		
				化学B	2	数理統計Ⅰ	2		
			力学C	2	数理統計Ⅱ	2			
小計		2	物理学A	2					
統計			統計	2					
化学実験			化学実験	2					
小計		2		12		6			
計		16		12		6			
必修科目	全コース共通	電気回路Ⅰ	2	論理回路	2	電子情報工学特別演習	1		
		電気回路Ⅱ	2	電子情報工学実験	2				
		プログラミングⅠ	2	電子情報基礎演習	1				
		プログラミングⅡ	2	データ構造とアルゴリズムⅠ	2				
		基礎電気磁気学	2	計算機工学Ⅰ	2				
		電子情報工学特論	2						
		小計		12		9		1	
	電子通信			電気磁気学	2	工業数学	2		
				半導体工学	2	電子通信工学実験	2		
				電子回路	2				
	小計			ディジタル信号処理	2				
	通信工学Ⅰ			通信工学Ⅰ	2				
	情報コース			情報理論	2	マイクロコンピュータ	2		
				プログラミング演習Ⅰ	1	オペレーティングシステム	2		
				プログラミング演習Ⅱ	1	計算機ネットワーク	2		
		小計				情報工学実験A	1		
				情報工学実験B	1				
情報システムコース			オートマトンと言語理論	4		8			
			情報数学	2	データベースシステム	2	卒業論文	6	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	情報処理システム開発	2	情報職業論	2	
			情報理論	2	マイクロコンピュータ	2			
			プログラミング演習Ⅰ	2	オブジェクト指向プログラミング	2			
			プログラミング演習Ⅱ	1	プロジェクト型ソフトウェア開発演習	2			
				1	オペレーティングシステム	2			
					計算機ネットワーク	2			
					ネットワークシステム	2			
	小計				情報系のための確率・統計	2			
				情報セキュリティ	2				
				情報工学実験A	1				
				情報工学実験B	1				
小計				10		22		8	
専門教育科目	全コース共通	△数値計算法	2	△通信工学Ⅱ	2	ロボティクス	2		
		△制御工学	2	△計算機工学Ⅲ	2	マルチメディア概論	2		
		△アナログ回路	2	センサーと計測	2	工業経営	2		
		▲計算機工学Ⅱ	2	通信・放送システム	2	情報化社会論	2		
				工業英語	2				
				総合工業論	2				
				ディジタル電子回路	2				
	小計				8		14		8
	電子通信コース	△電磁波理論	2	△電子系のための情報処理	2	△卒業論文	6		
		△情報理論	2	△集積回路プロセス	2	情報職業論	2		
		△電子物性	2	△通信応用	2				
		電気回路Ⅲ	2	△半導体デバイス	2				
		関数論	2	△光エレクトロニクス	2				
		微分積分Ⅲ	2	マイクロコンピュータ	2				
		微分積分Ⅳ	2	オペレーティングシステム	2				
		プログラミング演習Ⅰ	1	計算機ネットワーク	2				
			情報処理システム開発	2					
			ネットワークシステム	2					
小計				15		28		8	
情報コース	電気磁気学	2	データベースシステム	2	卒業論文	6			
	オートマトンと言語理論	2	オブジェクト指向プログラミング	2	情報職業論	2			
	情報数学	2	情報処理システム開発	2					
	データ構造とアルゴリズムⅡ	2	▲ネットワークシステム	2					
	電子回路	2	情報系のための確率・統計	2					
	ディジタル信号処理	2	情報セキュリティ	2					
	通信工学Ⅰ	2	知識工学	2					
	コンパイル構成法	2	画像処理工学	2					
			自然言語処理工学	2					
			音声情報処理工学	2					
小計				16		20		8	
情報システムコース	電気磁気学	2	△知識工学	2					
	電子回路	2	△画像処理工学	2					
	ディジタル信号処理	2	△自然言語処理工学	2					
	通信工学Ⅰ	2	△音声情報処理工学	2					
	コンパイル構成法	2							
小計				10		8			

(注) (1) 電子通信コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(電子通信コース)の△印の科目のうち20単位以上修得すること。

(2) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の▲印のうち1科目以上修得すること。

(3) 情報コースの学生は選択科目(全コース共通)及び選択科目(情報コース)の4年次開講科目より6単位以上修得すること。

(4) 情報システムコースの学生は選択科目(情報システムコース)の△印のうち2科目以上修得すること。

【化学システム工学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
工学 共 通 科 目	必修 科目	微分積分Ⅰ	2							
		行列と行列式Ⅰ	2							
		力学A	2							
		基礎物理化学A	2							
		基礎物理化学B	2							
物理学実験		2								
化学実験		2								
	小計	14								
通 科 目	選 択 科 目	微分積分Ⅱ	2	統計	2	基礎防災学	2	数理統計Ⅰ	2	
		行列と行列式Ⅱ	2	微分積分Ⅳ	2					
		力学B	2	関数論	2					
		物理学A	2	物理学C	2					
			力学C	2						
	小計	8		10		2		2		
	計	22		10		2		2		
専 門 教 育 科 目	必修 科目	両 コ ー ス 共 通	修学基礎演習	1	化学工学演習Ⅰ	1	化学工学演習Ⅱ	3	化学工学演習Ⅲ	1
			化学工学と社会	2	化学工学実験Ⅰ	4	化学工学実験Ⅱ	6	化学工学演習Ⅳ	1
			基礎無機化学	2	技術者倫理	2	外書講読・コミュニケーション	2	化学工学特別講義	2
			基礎有機化学Ⅰ	2	生物科学	2	反応工学	2	卒業論文	4
			基礎有機化学Ⅱ	2	情報処理基礎	2	研究開発序論	2		
			分析化学	2	化学工学プログラミング	2	地球環境科学	2		
			化学工学計算法	2	応用物理化学	2				
				化学反応速度論	2					
				流体工学	2					
				小計	13		19		17	
	選 択 科 目	化 学 工 学 コ ー ス			化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2
					粉粒体工学		2 拡散分離工学	2		
							物質移動工学Ⅰ	2		
							輸送現象	2		
	選 択 科 目	分 子 工 学 コ ー ス					化学プロセス工学	2		
						プロセスシステム工学	2			
選 択 科 目	両 コ ー ス 共 通	グラフィックデザイン	2	機器分析	2	機械的分離工学	2	エネルギー工学概論	2	
		工業無機材料	2	量子化学概論	2	電気工学通論	2			
				工業微生物学概論	2	医療薬理化学	2			
					生物化学工学	2				
					総合工業論	2				
選 択 科 目	化 学 工 学 コ ー ス									
選 択 科 目	分 子 工 学 コ ー ス			化学工学数学	2	伝熱工学	2	化学装置設計	2	
				粉粒体工学	2	2 拡散分離工学	2			
						物質移動工学Ⅰ	2			
						輸送現象	2			
						化学プロセス工学	2			
						プロセスシステム工学	2			

(注) いずれのコースの学生も、両コース共通選択科目及び履修するコースの選択科目について3年次科目から4単位以上修得しなければならない。

【社会デザイン工学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工 学 共 通 科 目	必修科目	微分積分Ⅰ	2	物理学実験	2				
		微分積分Ⅱ	2						
		行列と行列式Ⅰ	2						
		行列と行列式Ⅱ	2						
		力学A	2						
		力学C	2						
		統計	2						
	小計		14		2				
	選択科目	図学	2	化学A	2	基礎防災学	2		
		物理学A	2	化学実験	2				
				微分積分Ⅲ	2				
				微分積分Ⅳ	2				
	小計		4		8		2		
	計		18		10		2		
専 門 教 育 科 目	必修科目	建設景観学	2	静定構造力学及び演習	3	橋梁工学	2	卒業論文	4
		建設材料学	2	不静定構造力学及び演習	3	河川工学	2		
		環境工学概論	2	基礎水理学及び演習	3	地盤工学	2		
		測量学	2	応用水理学及び演習	3	都市計画	2		
		測量実習	2	基礎地盤力学及び演習	3	環境アセスメント	2		
		社会デザインの力学基礎	2	応用地盤力学及び演習	3	構造・空間デザイン演習	2		
		工業数学	2	社会基盤計画学	2	材料・地盤実験	2		
		社会デザインとの出会い	1	交通計画学	2	キャリアデザイン	2		
				コンクリート工学	2	キャリア演習	1		
				鉄筋コンクリート	2	技術者倫理	2		
				建設施工学	2				
				地球環境工学	2				
				上下水道学	2				
				水理・環境実験	2				
				情報処理演習	1				
	小計		15		35		19		4
	選択科目					耐震工学・地震防災	2		
						水資源工学	2		
						防災・環境地盤工学	2		
						景観デザイン論	2		
						建設マネジメント	2		
						廃棄物資源循環工学	2		
						実践測量実習	1		
						建設CAD	2		
	小計					社会基盤の維持管理	2		
	計					工業火薬学	2		
						総合工業論	2		
	小計						21		
	計		15		35		40		4

【建築学科】令和5年度入学生(23台)

【共通教育科目 (省略)】

△印は選択必修

		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
工 学 共 通 科 目	必修科目	図学Ⅰ 図学Ⅱ	2 2						
	小計		4						
	選 択 科 目	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 行列と行列式Ⅰ 行列と行列式Ⅱ 力学A 力学B 化学A 化学B	2 2 2 2 2 2 2 2	統計 化学実験 力学C 物理学実験	2 2 2 2				
	小計		16		8				
	計		20		8				
	専 門 教 育 科 目	静定構造力学Ⅰ 建築設計概論 建築環境学概論 情報処理演習	2 2 2 1	静定構造力学Ⅱ 不静定構造力学Ⅰ 建築構造材料 建築仕上材料 建築設計基礎 建築設計演習A 建築計画Ⅰ 建築計画Ⅱ 意匠論Ⅰ 建築環境学基礎 建築構法 建築総合実験	2 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2	建築法規 空気調和設備 都市計画Ⅰ 都市計画Ⅱ 建築設計計画 建築生産 建築学特別演習 耐震工学 建築設計演習B 建築の構造Ⅰ 建築の構造Ⅱ	2 2 2 2 2 2 1 2 3 2 2	卒業計画 技術者倫理	6 2
	小計		7		26		22		8
	選 択 科 目	構造力学演習Ⅰ 造形実習Ⅰ 造形実習Ⅱ	2 1 1	構造力学演習Ⅱ 構造力学演習Ⅲ 建築光環境 △ 建築史概論 建築CAD プログラミング基礎 測量実習 建築キャリアデザイン 建築情報	1 1 2 2 2 2 2 1 2	不静定構造力学Ⅱ 建築材料性能計画 建築音環境 建築衛生設備 建築実務演習 建築構造設計 意匠論Ⅱ 総合設計演習A 木質構造 日本建築史 △ 近代建築史 ランドスケープデザイン論 総合工業論	2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2	建築マネジメント 建築構造設計演習 建築の防災と維持保全 総合設計演習B	2 2 2 3
	小計		4		15		27		9
	計		11		41		49		17

(注) 専門教育科目・選択科目の△印のうち1科目以上修得すること。

5.4 図書工学部分室書籍貸出数

工学部分室蔵書冊数は、令和 2 年度に図書館の所蔵の取り扱いの変更のため大きく減少したが、それ以降の分室蔵書は増加が続いている。所蔵開始当初は、分室の書架狭隘のため、分室の蔵書としていた図書のうち利用が少ない図書は旧中央図書館に別置され、平成 24 年の新中央図書館設立時に自動書庫へ移管されていた。令和 2 年度のシステムリプレイス以前は中央図書館自動書庫へ移管した図書も分室の蔵書として集計していたが、システムリプレイスに伴い所蔵場所で集計することに変更された。そのため、令和 2 年度に中央図書館自動書庫の工学部分室所蔵の図서가中央図書館の所蔵となり、分室の蔵書冊数が減少した。

また、工学部分室の貸出数は、令和 2 年度に新型コロナ感染対策に伴う大学構内での活動制限によって大きく減少したものの、制限が緩和された令和 3 年度以降はコロナ禍以前の水準に戻りつつある。

工学部分室蔵書冊数（図書・雑誌）

年度 \ 冊数	図書			雑誌			蔵書冊数 合計	全学蔵書 冊数
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計		
令和元年度	80,972	37,451	118,423	27,136	33,921	61,057	179,480	2,042,234
令和 2 年度	59,872	17,858	77,730	11,382	14,003	25,385	103,115	2,052,402
令和 3 年度	60,224	17,671	77,895	11,676	14,301	25,977	103,872	2,062,889
令和 4 年度	60,559	17,852	78,411	11,915	14,579	26,494	104,905	2,074,059
令和 5 年度	60,988	18,023	79,011	12,129	14,886	27,015	106,026	2,079,863

工学部分室の貸出冊数（図書・雑誌・視聴覚資料・修士論文）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
学部学生	3,680	1,030	2,826	3,207	2,892
その他学生	12	0	12	13	25
大学院生	674	455	754	1,153	1,280
教職員	5,762	4,362	4,598	4,644	4,101
学外者	68	0	0	0	0
合計	10,196	5,847	8,190	9,017	8,298

5.5 学生が取得した資格

令和5年度

R5に学生が取得した資格

学科名	資格	人数
電気工学科	第三種電気主任技術者（科目合格）	1
	第一種電気工事士	1
	第二種電気工事士	1
	2級電気工事施工管理技士（第一次検定合格）	1
化学システム工学科	秘書検定2級 1名	1
	色彩検定2級 1名	1
建築学科	色彩検定3級	1
	色彩検定UC級	4
	韓国語能力試験 2級	1
	商業施設士補	3

機械工学科 なし

電子情報工学科 なし

社会デザイン工学科 なし

5.6 「学習意欲の向上と工学基礎教育の充実」プロジェクト

【取組目標】

(1) ものづくり研修

機械工・電気工・電子情報工・化学システム工の 4 学科は、外部業者に委託し、学内セミナーとして「自己の探求 I（自分を知り、他者を知り、チームビルディングを行う）」プログラムを、社会デザイン工・建築の 2 学科は、日帰り研修で専門性を生かす場の見学を予定した。このセミナー及び研修を行うことで、グループ学習による学生同士のコミュニケーションの場を提供し、教員と学生の親睦及び学科の連帯感の醸成、更に施設見学や研修発表会などを通して学習意欲の向上も目指すとともに、入学した学科への興味と将来の目標を持たせることにより、大学の学習環境への適応を促進し、初年次教育の充実を図ることを取組目標とした。

また、建築学科では著名建築家講演会を開催し、建築のプロフェッショナルと触れ合うことで、建築をつくることの楽しさや面白さを再認識し、設計や研究に対する意識や学習意欲の向上を図ることを目標とした。また、ものづくりセンターではプロジェクト企画を実施し、ものづくりを通して工学的感性を養い、体験による知識や技術力を備えさせることを取組目標とした。

(2) 学習支援室（T-Square）の設置

4 号館の 5 階またはヒューマンディベロップメントセンターに学習支援室を設置し、工学部教員 OB および理学部の専任教員の協力も得て、学生相談及び学習指導に当たることを取組目標とした。後期から理学部専任職員が公務のため担当から外れたが、これに代わり、専従の教員 OB を採用した。

【成果】

(1) ものづくり研修

学内セミナーについては、3 年ぶりに対面での実施となった。本プログラムでは、自分の持ち味を認識し、自分に対する自信を深めることで、他者への理解と大学で自分の持ち味を発揮させてみようという意識と行動の変容がみられ、大学での人間関係や今後の学習への不安解消の一助となった。

日帰り研修は、社会デザイン工学科と建築学科が実施した。社会デザイン工学科では、福岡空港では GSE（空港用地上支援車両）置場、博多港ではアイランドシティ管理棟、コンテナターミナル等を見学し、福岡の交通・都市システムの実情と先端技術を活用した業務の省力化・効率化を目の当たりにし、座学では得られない社会デザインへの興味を惹起することができた。

建築学科はフィールド研修として門司エリアの建築物を見学し、学生同士の交流に繋がったと同時に、これから学習する建築について興味の惹起につながった。また建築学科では著名建築家講演会を開催し、建築家から直に話を聞くことで作品の図面や写真、解説などでは分からない、設計プロセス、設計方法、思考方法、意識、哲学などを知ることで建築の楽しさ、面白さの再認識と共有ができた。

ものづくりセンターでは令和 5 年度に 7 つの学生プロジェクト活動を企画した。クリエイターズプロジェクトはメンバーの半数が文系の学生であり、学部学科の垣根を越えたチームでのものづくりに取り組むことができた。3D デザインプロジェクトでは、デザインコンテストに 4 件が入賞し、プログラミングプロジェクトでは、2 つのコンテストで特別賞を受賞するなどの功績をあげた。その他のプロジェクトも競い合うように、ものづくりを通じてチームでの活動ができた。

(2) 学習支援室「T-Square」の設置

4 号館の 5 階に気軽に様々な悩みの相談できる場所として「学習支援室 (T-Square)」を開設し、9 人の学部学生を対象に、様々な授業科目の学習サポートを 114 コマ (1 コマ 90 分) 学習指導を行った。実際には HD センターでサポート支援を実施することも多く、学力不振や学力に不安のある学生に少しずつではあるが学力を身につけさせている。今年度は後期からは指導する教員 2 名が専従となり、相談時間も増やす事ができ、より手厚い支援が可能になった。

第6章 国際交流

6.1 学生の留学状況

(1) 令和5年度海外派遣学生数

学部実施分 海外研修 0人

国際センター実施分 交換留学 0人、海外研修 6人

(2) 令和5年度交換留学、研修、訪問団など海外学生の受入れ数 0人

6.2 大学間協定・部門間協定

工学部が担当として新規に下記の大学と大学間協定を締結した。

(1) 中国 大連理工大学

(2) 中国 大連工業大学

(3) ケニア ジョモ・ケニアッタ農業工業大学

第7章 就職・進路状況

令和元年度から令和5年度までの5カ年の工学部および各学科の就職・進路状況の詳細は、以下の資料に示す通りである。

工学部の就職率（就職者 / 就職希望者数）は令和4年度よりも0.4%増加した99.1%である。就職率は高水準の状態を維持しており、直近3カ年は増加傾向にある。全学部の就職率は令和4年度よりも0.6%増加した97.2%（文系96.4%、理系98.8%）となっている。コロナ禍以降、円安や原材料価格の高騰などの影響で採用に慎重な姿勢を見せる企業がある一方で、デフレ脱却に向けて日本経済は活発になってきており、特に建設業では採用拡大の動きが現れている。

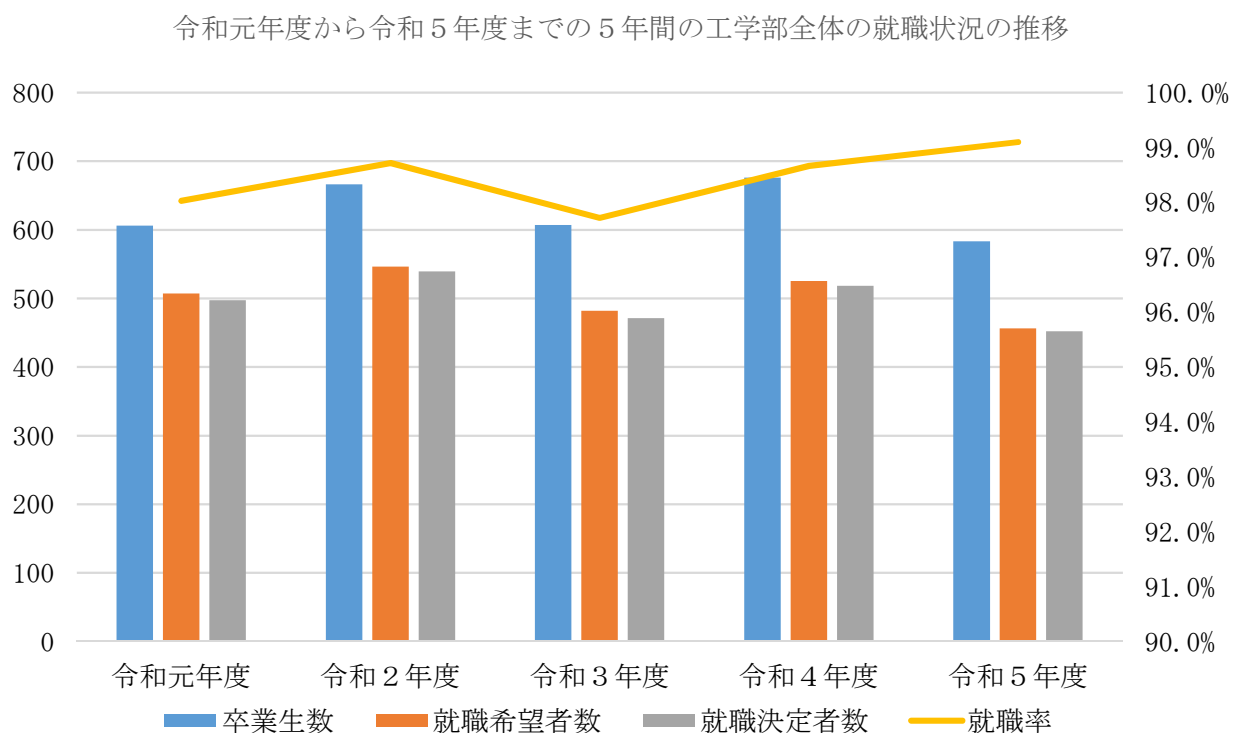
これまでの工学部各学科における就職対策の成果が、近年の高水準の就職率として現れているものと考えられる。複数の企業からの内定を獲得する者が増えると予想される今後の状況においても、これまでと同様にミスマッチを防ぎ、より充実した社会生活を送ることができるよう、工学部各学科における学生に対する就職活動のサポートと指導が引き続き重要になると考えられる。

また、令和5年度の大学院進学状況については、令和4年度からは減少したものの、進学者数は100名を超えており、18.0%の進学率を維持している。過去5カ年間の増加傾向は頭打ちになったが、依然として高水準にあると考えられる。

7.1 就職状況

令和元年度から令和5年度までの5年間の工学部全体の就職状況の推移

年度	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	就職率
令和元年度	606	507	497	98.0%
令和2年度	666	546	539	98.7%
令和3年度	607	482	471	97.7%
令和4年度	676	525	518	98.7%
令和5年度	583	456	452	99.1%



令和元年度から令和5年度までの5年間の工学部学科別就職状況

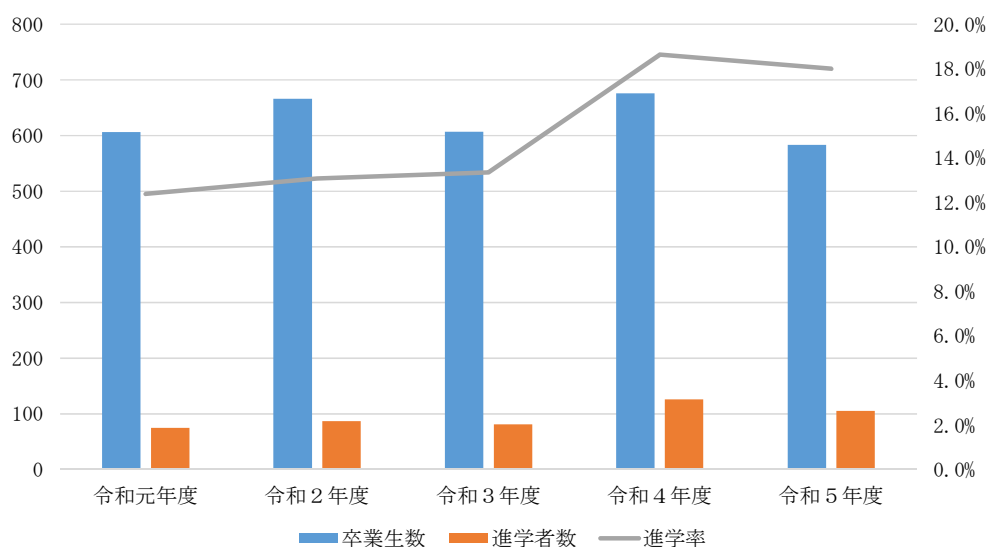
学 科		卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	就職率
機 械 工 学 科	令和元年	89	77	74	96.1%
	令和2年	109	89	89	100.0%
	令和3年	98	80	79	98.8%
	令和4年	126	103	102	99.0%
	令和5年	87	65	63	96.9%
電 気 工 学 科	令和元年	86	78	76	97.4%
	令和2年	97	79	78	98.7%
	令和3年	88	64	63	98.4%
	令和4年	110	95	94	98.9%
	令和5年	79	70	70	100.0%
電 子 情 報 工 学 科	令和元年	129	112	109	97.3%
	令和2年	151	121	119	98.3%
	令和3年	134	104	100	96.2%
	令和4年	122	98	93	94.9%
	令和5年	119	102	101	99.0%
化学システム工学科	令和元年	104	70	69	98.6%
	令和2年	99	77	75	97.4%
	令和3年	87	64	61	95.3%
	令和4年	119	72	72	100.0%
	令和5年	105	64	63	98.4%
社会デザイン工学科	令和元年	106	93	93	100.0%
	令和2年	111	97	97	100.0%
	令和3年	100	86	86	100.0%
	令和4年	100	83	83	100.0%
	令和5年	97	79	79	100.0%
建 築 学 科	令和元年	92	77	76	98.7%
	令和2年	99	83	81	97.6%
	令和3年	100	84	82	97.6%
	令和4年	99	74	74	100.0%
	令和5年	96	76	76	100.0%

7.2 大学院進学状況

令和元年度から令和5年度までの5年間の工学部全体の大学院進学状況の推移

年度	卒業生数	進学者数	進学率
令和元年度	606	75	12.4%
令和2年度	666	87	13.1%
令和3年度	607	81	13.3%
令和4年度	676	126	18.6%
令和5年度	583	105	18.0%

令和元年度から令和5年度までの5年間の工学部全体の大学院進学状況の推移



令和元年度から令和5年度の5年間における工学部学生の進学先

年度	進学先（括弧内の数字は進学者数で1名の場合は省略している）
令和元年度	福岡大学（59）、九州大学（9）、九州工業大学（3）、北陸先端科学技術大学院大学、早稲田大学、鳴門教育大学、鹿児島大学
令和2年度	福岡大学（72）、九州大学（10）、東京工業大学（2）、神戸大学、東京大学、東北大学
令和3年度	福岡大学（65）、九州大学（8）、立命館大学（3）、鹿児島大学、東北大学、長崎大学、東京都立大学、東京工業大学
令和4年度	福岡大学（99）、九州大学（14）、立教大学、早稲田大学、鹿児島大学、筑波大学、東京大学、山口大学、大分大学、熊本大学、福岡教育大学、岡山県立大学、芝浦工業大学、日本女子大学、福岡歯科大学
令和5年度	福岡大学（92）、東京工業大学（3）、九州大学（3）、東京大学、九州工業大学、熊本大学、佐賀大学、東京都市大学、早稲田大学、東海大学

令和元年度から令和5年度までの5年間の工学部学科別の大学院進学状況の推移

学 科		卒業生数	進学者数	進学率
機 械 工 学 科	令和元年	89	10	11.2%
	令和2年	109	18	16.5%
	令和3年	98	13	13.3%
	令和4年	126	21	16.7%
	令和5年	87	18	20.7%
電 気 工 学 科	令和元年	86	7	8.1%
	令和2年	97	12	12.4%
	令和3年	88	14	15.9%
	令和4年	110	11	10.0%
	令和5年	79	7	8.9%
電 子 情 報 工 学 科	令和元年	129	11	8.5%
	令和2年	151	13	8.6%
	令和3年	134	17	12.7%
	令和4年	122	19	15.6%
	令和5年	119	12	10.1%
化学システム工学科	令和元年	104	28	26.9%
	令和2年	99	21	21.2%
	令和3年	87	17	19.5%
	令和4年	119	44	37.0%
	令和5年	105	37	35.2%
社会デザイン工学科	令和元年	106	12	11.3%
	令和2年	111	10	9.0%
	令和3年	100	8	8.0%
	令和4年	100	12	12.0%
	令和5年	97	15	15.5%
建 築 学 科	令和元年	92	7	7.6%
	令和2年	99	13	13.1%
	令和3年	100	12	12.0%
	令和4年	99	19	19.2%
	令和5年	96	16	16.7%

第 8 章 地域貢献

工学部および工学研究科では、教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動、ボランティア活動、学外組織との連携協力による教育研究の推進などを行っている。

8.1 社会へのサービス活動

令和 5 年度の講演活動は、工学部・工学研究科全体で 63 件であった。企業や技術者団体、行政機関等が主催する技術者向けの専門性の高い講習会・研究集会での講演をはじめ、環境問題をテーマとした一般市民や学生向けのセミナーなどの幅広い講演活動を行っている。

審議会・委員会活動では、国および地方自治体が設置する審議会・委員会の委員等に就任し、大学研究者としての社会的役割を果たしている。特に、社会デザイン工学科では、景観、交通、都市計画、災害対策など数多くの審議会・委員会に参画している。

8.2 社会へのボランティア活動

令和 5 年度の社会へのボランティア活動は、工学部・工学研究科全体で 11 件であった。研究開発支援拠点の運営、環境問題に対するイベントや出前講座への参画、地域でのボランティア活動を行っている。

8.3 学外組織との連携協力による教育研究の推進

令和 5 年度の学外組織との連携協力による教育研究は、工学部・工学研究科全体で 37 件であった。様々な専門分野において研究成果の実用化や技術者育成等を目指し、行政機関、民間企業、他大学との共同研究、自治体の計画および事業への参画による研究成果の還元等の活動に積極的に取り組んでいる。

8.1.1 社会へのサービス活動 ①講演活動

学科・グループ	活動名（主催者名）
機械工学科	令和5年度西九州コンソーシアム 水素事業化研究・水素エネルギー開発研究会(企業等への講習会)
	夏のリコチャレ2023 機械工学サマースクール（市民講座）
電気工学科	「パワーエレクトロニクス基礎」技術者向け講習会（公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団）
電子情報工学科	福岡県産業・科学技術振興財団 新入社員向け論理回路・HDL設計技術講座（オリンパス株式会社）
	福岡県産業・科学技術振興財団 論理回路・HDL設計技術講座（市民講座、オンライン教材）
	小学生向けイベント「自分だけの「ホログラム」をつくってみよう！」（日本光学会九州支部・福岡大学）
化学システム工学科	第53回化学工学の基礎講習会「流動」を担当（化学工学会九州支部）
	第53回化学工学の基礎講習会「化学工学基礎」を担当（化学工学会九州支部）
	化学工学基礎出前講習会（旭化成株式会社）
	粉体入門セミナー「液体中の粒子の性質」（日本粉体工業技術協会）
	夏休み子どもサイエンス教室（福岡市西新公民館）
	廃棄物処理施設技術管理者講習（日本環境衛生センター西日本支局）
社会デザイン工学科	公害防止管理者受験講習会(大気関係)「大気特論」を担当（産業環境管理協会）
	JICA研修「FUNCTION OF COVER SOIL AND AVAILABILITY OF WASTES AS COVER MATERIAL」講義（JICA）
	第178回食品流通・包装懇話会「樹脂組成割合に基づく家庭系プラスチック類の排出実態」講演
	Forum on Access to Science Advice on Disaster Waste Management for Local Government Officials in the Philippines 講演
	令和5年度岡山県災害廃棄物処理図上訓練等運営支援業務に係る事前研修会講演「災害廃棄物研究のこれまでとこれから」
	13th International Conference on Sustainable Waste Management & Circular Economy & IPLA Global Forum 2023 講演「Disaster Waste Management in Japan -focusing on flood disaster-」
	環境省・（独）環境再生保全機構 環境研究総合推進費 国民との対話 災害と廃棄物処理 講演「災害廃棄物処理の現状」
	有明海の再生について・荒尾干潟ラムサール条約湿地登録10周年記念事業「豊饒の海を目指して」（荒尾市役所）
	小田部小学校防災研修・室見川の危険性（小田部小学校）
	JR古賀駅東口周辺地区まちづくりガイドライン報告会 公演「まちの豊かさと空間デザイン」（古賀市）
	海外の事例から学ぶ都市政策～都市の風格とアイデンティティはどのようにつくるのか～「魅力ある都市空間のデザイン」（公益社団法人 全国市町村研修財団）
	まちを豊かにするみちやひろばのデザイン（都市環境デザイン会議）
	Buenas Practicas en las plazas de las estaciones en Japon（JICA・日本工営都市空間課）
	福岡都市圏技術ナレッジ・アライアンス技術研修 講演（福岡市）
	NPO廃棄物地盤工学研究会・第50回勉強会講演（廃棄物学会）
	地盤工学講習会「舗装-設計から維持管理まで-」講習会（公益社団法人 地盤工学会）
	令和5年度 道路(舗装)技術講習会（長崎県舗装協会）
	令和5年度 道路舗装技術講習会（日本道路建設業協会）
	竹資源による自然と経済の循環セミナー（環境省森里川海生態系ネットワーク形成会合）
	日本学術会議公開シンポジウム・第15回防災学連携シンポジウム 講演（日本学術会議 防災減災学術連携委員会、一般社団法人 防災学術連携体）
	九州北部豪雨による地盤災害報告会（公益社団法人 地盤工学会）
	九州建設技術フォーラム 講演（九州建設技術フォーラム実行委員会）
	熊本市液状化シンポジウム「液状化に強いまちを目指して」講演（熊本市）
	全竹連 竹の大会 講演「竹の可能性」
	市川市八幡小学校 竹の授業
	第17回福岡県竹林サミット in 那珂川
建築学科	設計職・インテリアコーディネーター職向け研修講義（谷川建設）
	2023年度 鋼構造技術者育成のための講習会（一般社団法人 日本鋼構造協会）
	2023年度 鉄骨工事管理責任者認定考査 更新講習会（一般社団法人 日本鋼構造協会）
	スタッド溶接技術講習会（一般社団法人 スタッド協会）
	建築鉄骨製品検査技術者実技講習会（一般社団法人 全国鐵構工業協会）
	鉄骨製作管理技術者講習会「品質管理と試験・検査」（一般社団法人 鉄骨技術者教育センター）
	建築構造用鋼材と利用技術セミナー基調講演（一般社団法人 日本鉄鋼連盟）
資源循環・環境グループ	九州環境技術創造道場講師（環境技術創造研究所、北九州市役所）
	廃棄物処理施設技術管理者講習講師 最終処分場の維持管理担当（一般財団法人日本環境衛生センター）
	廃棄物処理施設技術管理者講習講師 廃棄物処理技術特論担当（一般財団法人日本環境衛生センター）
	市民講座エコスクール（資源循環・環境制御システム研究所）
	貯水槽水道の適切な管理に関するシンポジウム（全国給水衛生検査協会）
	認定簡易専用水道検査員講習会（全国給水衛生検査協会）
	認定簡易専用水道検査員・管理技術者・優良検査員更新講習会（全国給水衛生検査協会）
	JICA技術研修講師（コンポスト・モニタリング）
	福岡市FMGN技術研修講師（コンポスト・モニタリング）
	JICA研修「FUNCTION OF COVER SOIL AND AVAILABILITY OF WASTES AS COVER MATERIAL」講義（JICA）
	第178回食品流通・包装懇話会「樹脂組成割合に基づく家庭系プラスチック類の排出実態」講演
	Forum on Access to Science Advice on Disaster Waste Management for Local Government Officials in the Philippines 講演
	令和5年度岡山県災害廃棄物処理図上訓練等運営支援業務に係る事前研修会講演「災害廃棄物研究のこれまでとこれから」
	13th International Conference on Sustainable Waste Management & Circular Economy & IPLA Global Forum 2023講演「Disaster Waste Management in Japan -focusing on flood disaster-」
	環境省・（独）環境再生保全機構 環境研究総合推進費 国民との対話 災害と廃棄物処理 講演「災害廃棄物処理の現状」
ものづくりセンター	KYUSHU Gakusei SAS Forum 審査員（inochi WAKAZO Project）
	ロボット製作をテーマとした小学生向けの出前授業（久留米市立篠山小学校）
	図画工作科授業指導（福岡教育大学付属久留米小学校）

8.1.2 社会へのサービス活動 ②行政等の審議会・委員会活動

学科・グループ	審議会等の名称・職名
機械工学科	独立行政法人 水資源開発機構西日本ブロック技術研究発表会・審査委員
	NEDO鋼材ステアリング委員会委員
	産業技術総合研究所HydroMate委員会委員
電子情報工学科	九州半導体人材育成コンソーシアム人材育成サブWGメンバー
	九州半導体産業展実行委員
	三次元半導体研究センター長
	一般社団法人プロジェクトマネジメント学会九州支部代表幹事
化学システム 工学科	化学工学会九州支部・会計
	新市場／セントラル空調システム JIS原案作成委員会・委員
	社会福祉法人崇友会若竹保育園・外部評価委員
	経済産業省・産業構造審議会・臨時委員
社会デザイン 工学科	アスファルト事前審査委員会・委員/委員長
	一般社団法人九州貸切バス適正化センター・代表理事（会長）
	糸島市総合計画審議会・委員
	うきは市長野伏越周辺活用委員会・委員
	エコアクション21地域判定委員会・委員
	エフコープ生活協同組合・エフコープ環境助成運営委員
	大分県 津久見川・彦の内川 河川激甚災害対策特別緊急事業 景観・まちづくりアドバイザー
	大分県「大分市交通円滑化検討会」・委員長
	大分県景観アドバイザー
	大分県景観計画策定委員会・委員
	大分県津久見市庁舎建設専門家検討委員会・委員長
	大分都市圏総合都市交通計画推進協議会・委員長
	大牟田市中心市街地活性化協議会・委員
	大牟田市排水対策基本計画検討委員会・委員長
	大野城市生活審議会・委員
	久留米市屋外広告物審議会・委員
	久留米市拠点形成・土地利用推進委員会・委員長
	久留米市景観アドバイザー
	久留米市景観審議会・委員
	久留米市地域公共交通会議・副会長
	久留米市都市計画審議会・会長
	九州・長崎IR区域整備推進有識者会議・委員
	九州運輸局地域公共交通に関する第三者評価委員会・委員
	九州大学箱崎キャンパス跡地利用協議会・委員
	九州地盤情報システム協議会・企画部会部会長
	九州地方整備局佐賀国道事務所西九州道法面施工技術検討委員会・委員
	九州地方整備局事業評価監視委員会・副委員長
	九州地方整備局総合評価技術委員会・委員
	九州地方整備局防災ドクター（TEC-DOCTOR）・道路防災診断委員
	北九州市「一般廃棄物収集運搬業務委託における総合評価競争方式審査委員会」・委員
	北九州市景観審議会・委員
	熊本県環境影響評価委員
	熊本市液化化対策技術検討委員会・委員
	五島市久賀島の文化的景観整備活用委員会・委員

8.1.2 社会へのサービス活動 ②行政等の審議会・委員会活動

学科・グループ	審議会等の名称・職名
社会デザイン 工学科	公益財団法人九州運輸振興センター・アドバイザー
	公益財団法人九州運輸振興センター懸賞論文審査委員会・委員
	国土交通省「九州地方整備局景観委員会」・委員長
	国土交通省うるおいのある川づくり技術向上検討会・委員
	国土交通省九州地方整備局「宮崎ワシントンニアパーム維持管理検討会」・委員
	国土交通省九州地方整備局「宮崎海岸侵食対策検討委員会」及び「同効果検証分科会」・委員
	国土交通省九州地方整備局・下関北九州道路技術検討委員
	国土交通省九州地方整備局・九州河川技術懇談会委員
	国土交通省九州地方整備局・東彼杵道路環境影響評価技術検討委員
	国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所・山国川河川事務所景観委員
	国土交通省九州地方整備局新技術活用評価会議・委員
	佐賀県美しい景観づくりアドバイザー
	志免町都市計画審議会・会長代理
	全国トースト技術研究組合・理事
	筑紫野市地域公共交通会議・委員
	筑前町公共交通活性化対策委員会・会長
	津久見市中心部の活性化に関する検討委員会・委員長
	対馬市厳原地区横町線再整備計画アドバイザー
	天神明治通り街づくり協議会 街づくり協議委員会・議長
	天神明治通り街づくり協議会・街づくりアドバイザー
	特定非営利活動法人エコネットふくおか・理事
	土木学会環境システム委員会・委員
	内閣官房水循環政策本部・水循環アドバイザー
	那珂川市都市計画審議会・副会長
	長崎県美しい景観形成アドバイザー
	西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議・委員
	久山町都市計画審議会・会長
	広川町地域公共交通協議会・座長/アドバイザー
	広島県「竹原市景観審議会」・委員
	広島県「竹原市歴史的風致維持向上計画協議会」・委員
	風景デザイン研究会・会長
	ふくおか3Rメンバーズ企画運営委員会・委員
	福岡県「西公園再整備検討委員会」・委員長
	福岡県雨量通行規制見直し検討委員会・委員
	福岡県環境影響評価専門委員
	福岡県環境審議会・委員
	福岡県京築県土整備部 福岡県長峽川河川整備計画流域協議会・委員
	福岡県警察犯罪予防研究アドバイザー
	福岡県県土整備部・建築都市部公共事業再評価検討委員会・委員
	福岡県交通対策協議会・委員
	福岡県江尻川河川整備計画流域協議会委員・委員
	福岡県政府調達苦情検討委員会・委員長代理
	福岡県盛土に関する検討会・委員
	福岡県総合評価技術委員会委員・委員長
	福岡県都市計画審議会・専門委員

8.1.2 社会へのサービス活動 ②行政等の審議会・委員会活動

学科・グループ	審議会等の名称・職名
社会デザイン 工学科	福岡県樋井川水系河川整備計画流域協議会・委員
	福岡国道事務所景観委員会・景観アドバイザー
	福岡市オンデマンド交通社会実験に係る評価委員会・委員長
	福岡市こども未来局・福岡市科学館に係る指定管理者評価委員
	福岡市プラスチック再商品化事業者等公募検討委員会・委員
	福岡市環境影響評価専門委員
	福岡市技術ナレッジアライアンス制度委員
	福岡市市営地下鉄技術専門委員会・委員
	福岡市盛土に関する専門委員会・委員
	福岡市総合計画審議会・委員
	福岡市総合交通戦略協議会・会長
	福岡市大規模小売店舗立地協議会・委員/交通部会長
	福岡市地下鉄経営戦略懇話会・座長
	福岡市都市景観賞審査委員
	福岡市都市計画審議会・委員
	福岡市道路下水道局が所管する公の施設に係る指定管理者候補選定委員会・委員長
	福岡市附置義務特例制度審査会・アドバイザー
	福岡市福岡箱崎地域都市再生緊急整備地域準備協議会・副委員長
	福岡市保健環境研究委員会・委員
	福岡都市圏技術ナレッジ・アライアンス制度・委員
	福岡北九州高速道路公社福岡高速道路リフレッシュ工事検討委員会・委員長
	福岡北九州高速道路事業再評価監視委員会・副委員長
	福津市・古賀市産業廃棄物連絡協議会・会長
	福津市環境審議会・会長
	豊前市外二町清掃施設組合ごみ処理施設整備計画策定委員会・委員長
	松浦市景観審議会・委員長
	宗像市景観審議会・委員/景観アドバイザー
	宗像市防災都市づくり検討委員会・委員
建築学科	一般社団法人 スタッド協会 スタッド溶接技術検定委員会・委員
	一般財団法人 日本建築センター 超高層・免震等建築物構造評定委員会・委員
	一般財団法人 日本建築総合試験所 建築技術性能認証委員会・委員
	一般財団法人 日本建築総合試験所 建築構造性能評価委員会・委員
	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 建築鋼構造ネットワーク九州地区・幹事
	糸島市公共施設マネジメント検証委員会・委員長
	うきは市まるごと博物館協議会・会員
	うきは市PFI事業・審査員
	うきは市景観協議会・委員
	宇美町公共施設再配置計画庁外委員会・座長
	唐津市公共施設再編審議会・会長
	佐賀県環境影響評価審査会・会長
	福岡県マンション管理適正化推進計画策定検討委員会・副委員長
	福岡県環境影響評価専門委員会・委員
	福岡県環境審議会・委員
	福岡県建築鉄骨協議会・委員長
	福岡県建築都市部プロポーザル選定委員会・委員

8.1.2 社会へのサービス活動 ②行政等の審議会・委員会活動

学科・グループ	審議会等の名称・職名
建築学科	福岡県建築物耐震評価委員会・副委員長
	福岡市技術ナレッジ・アライアンス制度・委員
	福岡市空家等審議会・会長
	福岡市公共事業再評価等監視委員会・委員
	福岡市設計プロポーザル技術委員会・副委員長
	福岡市総合評価技術委員会・委員
資源循環・環境 グループ	大分県産業廃棄物審査会・委員
	大野城市生活審議会・委員
	北九州市「一般廃棄物収集運搬業務委託における総合評価競争方式審査委員会」・委員
	北九州市環境アセス員会・委員
	北九州市環境審議会・委員
	熊本県環境影響評価委員会・委員
	佐賀県大規模小売店立地審議会・委員
	佐賀県廃棄物処理施設専門員会・委員
	全国給水衛生検査協会ランキング表示制度運営委員会・委員長
	全国給水衛生検査協会簡易専用水道検査外部精度管理検討委員会・委員長
	福岡県産業廃棄物処理施設許可専門家会議・委員
	福岡県保健環境研究所外部評価委員会・委員
	福岡県リサイクル施設整備補助金審査委員会・委員
	福岡県使用済みプラスチックリサイクル施設整備補助金審査委員会・委員
	福岡県総合計画審議会・委員
	福岡県環境影響評価・専門委員
	福岡県環境審議会・委員
	福岡県公害審査会・委員
	福岡市空家審議会・委員
	福岡市環境審議会・委員
	福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド運営委員会・委員長
	福岡市自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会・委員
	福岡市人工衛星を活用した水道管漏水調査実証事業検討委員会・委員長
	福岡市プラスチック再商品化事業者等公募検討委員会委員
	福岡市環境影響評価委員会・委員
	福岡市大規模小売店舗立地協議会・委員
	福津市・古賀市産業廃棄物連絡協議会・会長
	福津市環境審議会・会長
	豊前市外二町清掃施設組合ごみ処理施設整備計画策定委員会・委員長
	柳川市一般廃棄物収集運搬・処分業者選定委員会・委員

8.2 社会へのボランティア活動

学科・グループ	活動名
社会デザイン 工学科	樋井川定期清掃活動年4回（流域システム研究室主催）
	笹丘小学校5年生樋井川生物観察会（流域システム研究室）
	笹丘ネイチャークラブ樋井川生物観察会（流域システム研究室）
	笹丘公民館ホタル観察会（流域システム研究室）
	友泉亭公園ホタル観察会（流域システム研究室）
	警固公園芝生補修活動
建築学科	唐津市鶴殿石仏群の補修技術に関する検討
	福岡市香陵校区まちづくり協議会におけるまちづくり活動
	初代門司駅遺構の保存に関する活動
	役に立つ建築鉄骨ディテール集の改定（一般社団法人日本鉄鋼連盟 建築鋼構造研究ネットワーク 地区事業活動）
	KASEI（九州建築学生仮設住宅環境改善）プロジェクト

8.3 学外組織との連携協力による教育研究の推進

学科・グループ	活動名（連携主体名）
機械工学科	気流拡散抑制機構および気流中に混入したミストの運動特性の解明（パナソニックホールディングス株式会社）
	同軸二重噴流ノズルを用いた清浄空気の搬送装置の開発（武藤工業株式会社）
電子情報工学科	プロダクトライン開発方法論の開発現場浸透のための教育方法論に関する研究（アイシン・ソフトウェア株式会社）
	制動機構の制御ソフトウェアにおけるソフトウェアプロダクトライン開発手法適用のケーススタディ（株式会社アドヴィックス）
	無線置局の最適設計に関する研究（日本電信電話株式会社アクセスサービスシステム研究所）
	ETロボコン（一般社団法人組込みシステム技術協会（JASA））
	地質データ利用の促進（一般社団法人福維会地質アーカイブ活用委員会）
化学システム工学科	硝酸エステル類の貯蔵安定性に関する研究（産業技術総合研究所）
	硝酸エステルの新規安定剤の開発（旭化成株式会社）
	解体性接着剤に関する研究（旭化成株式会社）
	ニトロセルロース膜の品質評価に関する研究（東洋濾紙株式会社、デンカ株式会社）
	GN/BCN系ガス発生剤の添加物による圧力指数への影響（日本化薬株式会社）
	新規消火剤に関する研究（日本化薬株式会社）
社会デザイン工学科	災害廃棄物情報プラットフォームに基づく支援活動（国立環境研究所）
	福岡県営西公園における基本設計・デザイン監修（福岡県県土整備事務所、株式会社オオバ）
	福岡筑後プラスチックリサイクルループ研究会（大木町、みやま市、柳川市、大川市、筑後市）
	博多バイパスデザイン検討（国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所）
	明治通り交差点デザイン検討（天神明治通り街づくり協議会、株式会社日建設計）
	JICAペルー国TOD能力強化プロジェクト・外部有識者（JICA、日本工営都市空間株式会社）
建築学科	カーテンウォールジョイントの水密性能評価モデルの構築（清水建設株式会社）
	シーリング材の硬化速度が保護塗膜層の耐久性に及ぼす影響（株式会社アステックペイント）
	1成分形シーリング材の硬化メカニズムの解明（オート化学工業株式会社）
	レシプロカル構造を活用した「円墳インスタレーション」（春の古墳まつり/うきは市）
	アルミ型枠工法（ALSP ² 工法）の改良に関する研究（森田建設株式会社）
	鋼管杭頭接合部の共同開発（株式会社テクノ九州）
	鋼管杭継手の共同開発（株式会社岡本建設用品製作所）
	合成梁工法の共同開発（岡部株式会社、旭化成建材株式会社、ワンス設計事務所）
	鉄骨梁貫通孔補強工法の共同開発（旭化成建材）
	鋼管杭頭接合部の共同開発（岡部株式会社）
	木造トラス接合工法の共同開発（九州第一工業株式会社、岡部株式会社）
	バーリングシアコネクタの研究成果による鹿児島県垂水市の栈橋（ワンス設計事務所）
	バーリングシアコネクタの研究成果による三ノ宮駅ビルPJの柱梁接合部（竹中工務店）
資源循環・環境グループ	ドローン及び衛星監視システムを活用した最終処分場における温室効果ガス放出量及びCO ₂ 吸収量のモニタリング技術開発（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
	Emergency Technical Support Project for Solid Waste Management in Berbera, Somalia（国連ハビタット）
	Emergency Technical Support Project for Solid Waste Management in Hawassa, Ethiopia（国連ハビタット）
	災害廃棄物情報プラットフォームに基づく支援活動（国立環境研究所）
	福岡筑後プラスチックリサイクルループ研究会（大木町、みやま市、柳川市、大川市、筑後市）

第9章 工学部の組織体制

令和5年度 工学部の組織体制

＜工学部＞ 氏名及び学科・教室名等

学 部 長

辰巳 浩

社会デザイン工学科（令和4年12月1日より）

学 科 主 任

柳瀬 圭児

機械工学科

小浜 輝彦

電気工学科

佐藤 寿倫

電子情報工学科

新戸 浩幸

化学システム工学科

佐藤 研一

社会デザイン工学科

穴井 謙

建築学科

柳橋 泰生

資源循環・環境グループ

経 理 委 員

柳瀬 圭児

機械工学科

岩村 誠人

機械工学科

小浜 輝彦

電気工学科

花井 正広

電気工学科

佐藤 寿倫

電子情報工学科

鈴木 孝将

電子情報工学科

新戸 浩幸

化学システム工学科

松隈 洋介

化学システム工学科

佐藤 研一

社会デザイン工学科

村上 哲

社会デザイン工学科

穴井 謙

建築学科

高山 峯夫

建築学科

奈尾 信英

図学教室

柳橋 泰生

資源循環・環境グループ

教 務 担 当

稲毛 真一	機械工学科
西田 貴司	電気工学科（令和6年11月30日まで）
中村 遼	電子情報工学科（令和5年11月30日まで）
吉村 賢治	電子情報工学科（令和5年12月1日より）
野田 賢	化学システム工学科（令和5年11月30日まで）
瀬戸 弘一	化学システム工学科（令和5年12月1日より）
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科
田中 照久	建築学科
奈尾 信英	図学教室

図 書 連 絡 員

宮田 一司	機械工学科
江田 孝治	電気工学科
中西 恒夫	電子情報工学科
鈴川 一己	化学システム工学科
橋本 彰博	社会デザイン工学科
宮崎 慎也	建築学科
酒井 幸仁	図学教室
武下 俊宏	資源循環・環境グループ

研究推進部連絡委員

岩村 誠人	機械工学科
江田 孝治	電気工学科
高橋 伸弥	電子情報工学科
瀬戸 弘一	化学システム工学科
鈴木 慎也	社会デザイン工学科
太記 祐一	建築学科
酒井 幸仁	図学教室
為田 一雄	資源循環・環境グループ

入学・広報担当

○は入学センター委員

林 長軍	機械工学科
○松岡 毅	電気工学科
辻 聡史	電気工学科
小野 晋太郎	電子情報工学科
加藤 勝美	化学システム工学科
渡辺 浩	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
山本 俊宏	資源循環・環境グループ

評 議 員

遠藤 正浩	機械工学科
吉澤 幹夫	建築学科

大 学 協 議 員

野田 賢	化学システム工学科
------	-----------

教 務 委 員

高橋 伸弥	電子情報工学科
-------	---------

学 生 部 委 員

橋本 彰博	社会デザイン工学科
-------	-----------

図 書 委 員

加藤 貴史	化学システム工学科
-------	-----------

研究推進部委員

松隈 洋介	化学システム工学科（令和5年11月30日まで）
山辺 純一郎	機械工学科（令和5年12月1日より）

入学センター委員

松岡 毅	電気工学科（令和5年11月30日まで）
渡辺 浩	社会デザイン工学科（令和5年12月1日より）

国際センター委員

鈴木 慎也

社会デザイン工学科（令和5年11月30日まで）

鈴木 孝将

電子情報工学科（令和5年12月1日より）

キャリアセンター委員

吉澤 幹夫

建築学科

学生懲戒委員

太郎丸 眞

電子情報工学科（令和5年11月30日まで）

江田 孝治

電気工学科（令和5年12月1日より）

教育職員資格審査委員

西田 貴司

電気工学科（令和5年11月30日まで）

花井 正広

電気工学科（令和5年11月30日まで）

森山 茂章

機械工学科（令和5年12月1日より）

篠原 正典

電気工学科（令和5年12月1日より）

アニマルセンター委員

高橋 伸弥

電子情報工学科（令和5年11月30日まで）

重松 幹二

化学システム工学科（令和5年12月1日より）

RIセンター委員

篠原 正典

電気工学科（令和5年11月30日まで）

中西 恒夫

電子情報工学科（令和5年11月30日まで）

久保田 純

化学システム工学科（令和5年12月1日より）

渡辺 亮一

社会デザイン工学科（令和5年12月1日より）

学部調整委員

※は障がい学生支援担当

高尾 幸来	機械工学科（令和5年11月30日まで）
※岩村 誠人	機械工学科（令和5年11月30日まで）
岩村 誠人	機械工学科（令和5年12月1日より）
篠原 正典	電気工学科（令和5年11月30日まで）
※篠原 正典	電気工学科（令和5年12月1日より）
松岡 毅	電気工学科（令和5年12月1日より）
名倉 徹	電子情報工学科（令和5年11月30日まで）
小野 晋太郎	電子情報工学科（令和5年12月1日より）
久保田 純	化学システム工学科
渡辺 亮一	社会デザイン工学科
吉澤 幹夫	建築学科（令和5年11月30日まで）
宮崎 慎也	建築学科（令和5年12月1日より）

環境保全センター委員

重松 幹二	化学システム工学科（令和5年11月30日まで）
田中 綾子	資源循環・環境グループ（令和5年12月1日より）

動物実験委員会委員

田中 綾子	資源循環・環境グループ（令和5年11月30日まで）
武下 俊宏	資源循環・環境グループ（令和5年12月1日より）

エックス線業務責任者

鈴木 孝将	電子情報工学科（令和5年11月30日まで）
西田 貴司	電気工学科（令和5年12月1日より）

附属若葉高等学校一貫教育委員会委員

松岡 毅	電気工学科（入学センター委員） （令和5年11月30日まで）
渡辺 浩	社会デザイン工学科（入学センター委員） （令和5年12月1日より）

＜委 員 会＞

教育に関する会議

○は教務委員

稲毛 真一	機械工学科（令和5年11月30日まで）
宮田 一司	機械工学科（令和5年12月1日より）
西田 貴司	電気工学科
○高橋 伸弥	電子情報工学科（令和4年12月1日より）
中村 遼	電子情報工学科（令和5年11月30日まで）
吉村 賢治	電子情報工学科（令和5年12月1日より）
久保田 純	化学システム工学科（令和4年11月30日まで）
瀬戸 弘一	化学システム工学科（令和5年12月1日より）
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科（令和5年11月30日まで）
田中 照久	建築学科
酒井 幸仁	図学教室（令和5年11月30日まで）
奈尾 信英	図学教室（令和5年12月1日より）

教育点検・改善委員

（旧 工学部JABEE委員会）

○は教務委員

安東 洋一	機械工学科
住吉谷 覚	電気工学科
中西 恒夫	電子情報工学科
○高橋 伸弥	電子情報工学科
中西 恒夫	電子情報工学科
末次 正	電子情報工学科
新戸 浩幸	化学システム工学科
加藤 勝美	化学システム工学科
柴田 久	社会デザイン工学科
櫛原 弘貴	社会デザイン工学科
池添 昌幸	建築学科
塚越 雅幸	建築学科

入学・広報委員会

○は入学センター委員

林 長軍	機械工学科
辻 聡史	電気工学科
小野 晋太郎	電子情報工学科
加藤 貴史	化学システム工学科
○渡辺 浩	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
山本 俊宏	資源循環・環境グループ

グローバル人材育成委員会

○は国際センター委員

辰巳 浩	学部長
山辺 純一郎	機械工学科
松岡 毅	電気工学科
○鈴木 孝将	電子情報工学科（令和5年12月1日より）
高橋 伸弥	電子情報工学科
吉村 賢治	電子情報工学科
三島 健司	化学システム工学科
○鈴木 慎也	社会デザイン工学科（令和5年11月30日まで）
橋本 彰博	社会デザイン工学科
高山 峯夫	建築学科
田中 綾子	資源循環・環境グループ

令和5年度 工学研究科の組織体制

＜工学研究科＞ 氏名及び専攻名

研究科長

佐藤 寿倫

電子情報工学

博士課程前期・修士課程

主 任

山辺 純一郎

機械工学

小浜 輝彦

電気工学

鶴田 直之

電子情報工学

松隈 洋介

化学システム工学

村上 哲

建設工学

柳橋 泰生

資源循環・環境工学

博士課程後期

主 任

柳瀬 圭児

エネルギー・環境システム工学

大橋 正良

情報・制御システム工学

大学院学務委員

久保田 純

化学システム工学（令和5年11月30日まで）

新戸 浩幸

化学システム工学（令和5年12月1日より）

大学院教育職員資格審査委員

名倉 徹

電子情報工学

趙 翔

建設工学（令和5年11月30日まで）

堺 純一

建設工学（令和5年12月1日より）

工学部・工学研究科資料集

Vol.16(2024.11)

令和 6 年 11 月 30 日発行

編集・発行 福岡大学 工学部・工学研究科

福岡大学 〒814-0180

福岡県福岡市城南区七隈八丁目 19 番 1 号

TEL (092) 871-6631 (代表)

TAX (092) 865-6031 (教務三課 工学部事務室内)

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/education/undergraduate/engineering/>

